

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021

事業報告書

DANCE
DANCE
DANCE
city
YOKOHAMA



Dance Dance Dance @YOKOHAMA 2021

事業報告書













実行委員長挨拶

Dance Dance Dance @YOKOHAMA 2021

今回は前例のない新型コロナウイルス感染症の影響を受けての開催となりましたが、万全の感染症対策を講じながら、Dance Dance Dance @YOKOHAMA 2021を無事に閉幕することができました。ご協力・ご支援いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

4回目となる今回は、特にコロナ禍で活動の場が少なくなってしまった日本のアーティストや団体、市民の皆様に対して、フェスティバル開催を通じて支援することを我々の役割として捉えるとともに、「舞台は横浜の“街”そのもの」、「クリエイティブ・インクルージョン」、「クリエイティブ・チルドレン」、「国際発信」の4つのコンセプトを前回から引き継ぎ、文化芸術に触れる機会が減っている状況の中でも、誰もが楽しめるフェスティバルとして皆様に喜んでいただけるよう、取り組んでまいりました。

特に今回は、小林十市ディレクターのもとで横浜初演となる作品や港町横浜ならではの「横浜ベイサイドバレエ」など、横浜発を意識したプログラムを構成することができました。劇場での公演のほかにも、「横浜ダンスパラダイス」を約3か月もの間、週末を中心に市内各所のオープンスペースで開催し、多くの市民ダンサーやゲストダンサーがご出演され、横浜の街をダンスで盛り上げていただきました。

また次世代育成として、未就学児から年代ごとに様々なプログラムを展開しました。憧れのプロのダンサーとの共演や18区全てで開催したワークショップなど、参加いただいた子供たちには大いに刺激となるとともに、コロナ禍で学校等の行事が減っている中、貴重な体験になったことでしょう。さらに、50を超える数多くのダンスプログラムにパートナー事業としてご参加いただくなど、多くの皆様と作り上げることでできたフェスティバルとなったと思います。

フェスティバルの開催にあたり、多大なるご支援をいただきました協賛・協力企業の皆様、地域の皆様、共催・パートナー事業の皆様、また、ご助成いただきました文化庁はじめ、国内各種団体、関係各国大使館等の皆様に心からお礼申し上げます。

Dance Dance Dance @YOKOHAMAですが、回を重ねるごとにプログラムも多彩かつ充実し、多くの皆様に広く知っていただけるようになりました。引き続き、皆様に愛され、親しまれるフェスティバルとなるよう、取り組んでまいります。



横浜アーツフェスティバル実行委員会
委員長 近藤 誠一
(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 理事長)

ディレクター挨拶

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021

新型コロナウイルス感染症の変異株の出現により、いまだに収束の目処がつかない世界状況が続いていますが、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021はお陰様で好評の中、無事に幕を閉じることができました。思い返すと本当に奇跡としか言いようがないです・・・。

2019年の年末にDance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021のディレクターをと打診されて、2020年の2月に横浜アーツフェスティバル実行委員会の皆さんにお会いし、ディレクターの委託を受けました。そこからフランスへ戻ると新型コロナウイルス感染症でロックダウンが始まり、数々の企画案をオンラインミーティングで進めていき、不自由な環境で皆さんには対応していただきました。僕はディレクター補佐として山本康介くんを迎え、彼が持っているコネクションを最大限に使ってもらいアーティストとコンタクトを取り、また第1回からDance Dance Dance @ YOKOHAMAを見守ってきている斎藤友佳理さんをアドバイザーとして迎え、ご意見をいただきました。

フェスティバルの象徴とも言える開幕のステージ「横浜ベイサイドバレエ」、古典バレエの代名詞『白鳥の湖』。ベジャール、プティ等20世紀の巨匠たちによるマスターピースを揃えた「International Choreography × Japanese Dancers ～舞踊の情熱～」そして自分のディレクターとしての色が出せる企画として、創作落語と名作バレエのコラボレーションや、踊るディレクターとして打ち出した「エリア50代」では近藤良平さんをはじめ50代の舞踊家に協力していただき、金森穰くん率いるNoism Company Niigataと共にクリエーションした世界初演作、若い世代に人気のアーティストによるエネルギッシュなステージ。今この日本のダンスが高い水準であることを示せたのではないかと感じています。

さらに、市民の皆様と一緒にステージをつくる「横浜ダンスパラダイス」やプロのダンサーが学校や地域へ出向き、子供たちに踊る楽しさを伝えるワークショップ等。国籍、世代、ジェンダー、障害、全てを越えて、誰もが楽しめるプログラムを開催し、多くの方に参加していただくことができました。

ある意味、不安要素ばかりであったこのコロナ禍で多くのお客様にいらしていただき、企画した内容も喜んでいただけたようで安堵しております。1年半以上かけて企画案を一緒に考えてきた横浜アーツフェスティバル実行委員会の皆さん、山本康介くん、その他にもたくさんの方にサポートしていただきました。そして参加してくれたアーティストの皆さん！さらに、協賛企業をはじめ、フェスティバルに賛同いただき支援いただいた皆さん！こうして実現し、無事に終えることができましたことを心から感謝しています。今後、このDance Dance Dance @ YOKOHAMAが続き、世界でも認知され、横浜から発信される芸術祭となることを願うばかりです。



Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 ディレクター
小林 十市

開催概要

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021

フェスティバル名	Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 (ダンス ダンス ダンス アット ヨコハマ ニーマルニーイチ)
会期	2021年8月28日(土)～10月17日(日) (プレ期間5月1日(土)～8月27日(金)、ポスト期間10月18日(月)～11月30日(火))
会場	横浜市内全域＜横浜の“街”そのものが舞台＞
ジャンル	バレエ、コンテンポラリー、ストリート、ソーシャル、チア、日本舞踊、フラ、盆踊りなど オールジャンル
ディレクター	小林 十市
プログラム数	205プログラム (うち主催79、共催70、パートナー事業56) ※このうち、新型コロナウイルス感染症等により49事業 (主催16、共催20、パートナー事業13) が中止・取消となりました。
来場・参加者数	75,900人 (主催・共催事業のみ) ※パートナー事業を含めた全プログラムの総来場・参加者数は12万人
主催	横浜アーツフェスティバル実行委員会
共催	横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
後援	観光庁、神奈川県、公益財団法人神奈川芸術文化財団、 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、横浜商工会議所、 一般社団法人横浜青年会議所、神奈川新聞社、NHK横浜放送局、tvk (テレビ神奈川)、 アール・エフ・ラジオ日本、FMヨコハマ、横浜市ケーブルテレビ協議会
助成	令和3年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業 一般財団法人地域創造
協賛	 ＜GOLD SPONSOR＞ 日産自動車株式会社、三井不動産グループ、三菱地所グループ ＜SILVER SPONSOR＞ コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、株式会社JVCケンウッド、スターツグループ、 株式会社そごう・西武 そごう横浜店、株式会社高島屋 横浜店、株式会社横浜銀行 ＜BRONZE SPONSOR＞ 上野トランステック株式会社、株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、クイーンズスクエア横浜、 株式会社サカタのタネ、J:COM、凸版印刷株式会社、NEC、NTT東日本
協力	麒麟ビール株式会社、京浜急行電鉄株式会社、相鉄グループ、東急電鉄株式会社、 富士フイルムビジネスソリューション株式会社、横浜高速鉄道株式会社、横浜信用金庫
認証	

横浜市の成長戦略として実施する 文化芸術フェスティバル



横浜市では、文化芸術の創造性を生かした横浜らしい特色ある文化芸術イベントとして、現代アート・ダンス・音楽のフェスティバルを継続的に開催しています。

日本最大級のダンスの祭典である「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA」は2012年に第1回を開催し、2021年に4回目を迎えました。

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 4つのコンセプト

1

舞台は横浜の「街」そのもの。 街じゅうがダンス空間

横浜の景観を生かした、横浜ならではのプログラムをラインナップ。劇場内での公演だけでなく、美しい港を背景とした野外舞台や、商業施設・駅前広場などのオープンスペースで、多彩なプログラムを展開。

2

あらゆる人にダンスの楽しさを。 クリエイティブ・インクルージョン

ダンスのジャンルはもちろん、国籍、ジェンダー、世代や障害の有無を越えて、様々な方が参加でき、楽しめるフェスティバルを展開。

3

ダンスとの出会いが子供たちを待っている。 クリエイティブ・チルドレン

学校への出張授業や、普段なかなか接する機会のないプロアーティストに直接技術を学ぶワークショップなどを実施し、横浜の未来を担う子供たちの豊かな創造性や感受性を育むプログラムを展開。

4

横浜“発”、世界へ。 国際発信

トップアーティストによる新たなチャレンジや、ダンスのジャンルを越えたクリエイション、“和”を感じられるプログラムなど、創造的なコンテンツを横浜から海外へ発信。

実行委員長挨拶	P8
ディレクター挨拶	P9
開催概要	P10
コンセプト	P11
主催プログラム	P13
共催プログラム	P41
パートナー事業	P59
資料編	P69

DANCE
DANCE
DANCE
city
YOKOHAMA

Dance Dance Dance @ **YOKOHAMA 2021**

主催プログラム

横浜ダンスパラダイス

日程	7.22(木・祝)～10.16(土)
会場	市内商業施設、ショッピングストリート、駅前広場、公園等32会場46ステージ
出演	公募等によって選ばれたオールジャンルのダンサー、ゲストアーティスト
観覧・入場料	無料
来場・参加者数	35,110人(出演者246組2,990人、観覧者32,120人)
主催	横浜アーツフェスティバル実行委員会

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021の市民参加事業「横浜ダンスパラダイス」。東京2020大会が開幕した7月下旬から、本フェスティバルが閉幕を迎えた10月中旬に至るまでの約3か月間、週末を中心に30ステージを実施した。雨天や会場都合で中止となった回もあったものの、商業施設、ショッピングストリート、駅前広場、公園などのオープンスペースで行われた観覧無料のダンスステージは、各回とも大賑わい。国籍、ジェンダー、世代や障害の有無を越えて集まったダンサーたちが、オールジャンルのパフォーマンスで横浜を熱く盛り上げた。

本企画にはゲストも多数参加。ダンサー・振付家の小暮香帆と川瀬賢太郎が指揮する神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演や、横浜の夜景をバックに舞ったSIROCOの情熱的なフラメンコ、キラのあるハウスダンスを披露したMiyu×県立市ケ尾高校ダンス部とのコラボレーションなどが、ステージに華を添えた。また、最終日は近藤良平振付のオリジナルダンス『レッド・シューズ』で、「横浜ダンスパラダイス」を盛大に締めくくった。



横浜ダンスパラダイス 企画アドバイザー

近藤 良平

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA オリジナルダンス『レッド・シューズ』振付
コンドルズ主宰。ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。

第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。第67回横浜文化賞受賞。
NHK教育『からだであそぼ』、NHK総合『サラリーマンNEO』などで振付出演。NHK連続テレビ小説『てっぺん』
オープニング振付、NHK大河ドラマ『いだてん』ダンス指導など、映画・TV・PV・CMで振付多数。
2021年4月、彩の国さいたま芸術劇場次期芸術監督に就任。



Photo:菅原康太



Photo:菅原康太



Photo:菅原康太



東アジア文化都市特別プログラム

日程 9.19(日)

会場 クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル

日中韓3か国の相互理解の促進を主な目的とした「東アジア文化都市」事業の初代開催都市として、横浜市は中国泉州市、韓国光州広域市と2014年から文化芸術を通じた交流を継続している。

2021年の特別プログラムでは、3都市の若手ダンサーがオンラインで交流。世界で活躍するブレイクダンサー KATSUYA氏の振付・指導を受け、作品を創作。その共同作品を上演し、共にダンスステージを盛り上げた。



横浜ダンスパラダイス／開催スケジュール一覧

日程	会場名	出演者
7.22(木・祝)	ランドマークプラザ 1F サカタのタネ ガーデンスクエア	【ゲスト】小暮香帆×神奈川フィルハーモニー管弦楽団 公募ダンサー
7.23(金・祝)	クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル	【ゲスト】私立恵比寿中学、 DRAMATIC WORKS 金魚JAM (南彩子、渡辺じゅり)
	グランモール公園 円形広場	【ゲスト】横浜F・マリノス公式チアリーディングチーム Tricolore Mermaids 公募ダンサー
	みなとみらい駅改札外コンコース みらいチューブ	公募ダンサー
7.24(土)	クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル	【ゲスト】早稲田大学男子チアリーディングチーム SHOCKERS 公募ダンサー
	ナビオス横浜 通景空間	【ゲスト】SIROCO flamenco 公募ダンサー
7.31(土)	山下公園 バルコニー	公募ダンサー
	横浜港大さん橋国際客船ターミナル	公募ダンサー
	日本大通り(県庁前) (中止)	
8.1(日)	ランドマークプラザ 1F サカタのタネ ガーデンスクエア	【ゲスト】日本舞踊家集団 弧の会、輝&輝、笠井瑞丈、藤原道山、 尾上菊之丞、尺八アンサンブル「風雅竹韻」
	JR桜木町駅前広場	【ゲスト】PP WEST AFRICAN 公募ダンサー
8.7(土)	ランドマークプラザ 1F サカタのタネ ガーデンスクエア	【ゲスト】球舞-CUBE- 公募ダンサー
	クイーンズスクエア横浜 クイーンズパーク (中止)	
8.8(日)	イセザキ・モール1・2St. (中止)	
	関内マリナード地下街 マリナード広場 (中止)	
	馬車道商店街 馬車道ひろば (中止)	
8.9(月・休)	クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル	【ゲスト】FUNBURGER、NECダンサーズ&RAYVEL、大前光市、 かんばらけんた、特別支援学校有志、横浜ラポールワークショップ受講者、 チャンキー楽団、近藤良平、ダンスマスター (ユニスタ、天然ダンス工房)
8.14(土)	新都市プラザ (そごう横浜店地下2階正面入口前)	公募ダンサー
	JR桜木町駅前広場 (中止)	



横浜ダンスパラダイス／開催スケジュール一覧

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021

日程	会場名	出演者
9.4(土)	クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル JR本郷台駅前広場 (中止)	【ゲスト】BLUE TOKYO、ayumugugu・BOXER・tenpachi・yurinasia 公募ダンサー
9.11(土)	MARK IS みなとみらい 1F グランドギャラリー (中止)	
9.12(日)	三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド (中止)	
9.18(土)	こどもの国 中央広場 (中止)	
9.19(日)	クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル ランドマークプラザ 1F サカタのタネ ガーデンスクエア 相鉄ライフいずみ野前広場 (中止)	【ゲスト】大前光市、かんばらけんた、さとうあい、キャロットよしえ、 萬木信也、齊藤令奈、光陽師想真 東アジア文化都市特別プログラム 【ゲスト】日本舞踊パフォーマンスグループOkuni 公募ダンサー
9.20(月・祝)	ランチ横浜南部市場 海辺広場 (中止)	
9.23(木・祝)	たまプラザ テラス ゲートプラザ1F フェスティバルゲート	【ゲスト】ひつじのショーン タップダンスショー 公募ダンサー
9.25(土)	象の鼻テラス 横浜三井ビルディング1階 (中止) 日産グローバル本社ギャラリー (中止)	【ゲスト】清水夏生、田中葵、東野恵祐、RIO
9.26(日)	横浜市役所アトリウム 三井ショッピングパーク ららぽーと横浜 セントラルガーデン KiLaLa (中止)	【ゲスト】熊谷和徳、Miyu×県立市ヶ尾高校ダンス部 公募ダンサー
10.2(土)	クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル	【ゲスト】トロピカル〜ジュ!プリキュア、ファイルーズあい、Machico、 吉武千颯、北川理恵
10.3(日)	戸塚駅東口ペDESTリアンデッキ 元町ショッピングストリート	【ゲスト】BLACK SUPERIORS、MiiHAN、white superiors 公募ダンサー 【ゲスト】ARISA & MOE from POiNT 公募ダンサー
10.9(土)	アピタ長津田 1F 中央スナックコート	公募ダンサー
10.10(日)	港南台バース 1F ドゥファッションプラザ	公募ダンサー
10.16(土)	クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル ランドマークプラザ 1F サカタのタネ ガーデンスクエア JR桜木町駅前広場 日本丸メモリアルパーク アリーナステージ グランモール公園 円形広場 グランモール公園 美術の広場	【フィナーレスペシャルプログラム ゲスト】近藤良平、チャンキー楽団、 ダンスマスター (天然ダンス工房、ユニスタ、Lucky Strike) 公募ダンサー 公募ダンサー 公募ダンサー 【ゲスト】中華獅子舞 (横浜中華学院校友会) 公募ダンサー 【ゲスト】太めパフォーマンス 公募ダンサー 【ゲスト】RAYVEL 公募ダンサー



Photo:大野隆介

オリジナルダンス『レッド・シューズ』

童謡『赤い靴』をエチオピアンジャズ風にアレンジした楽曲に、コンドルズを主宰する近藤良平が横浜をイメージして振り付けた、誰でもすぐに踊ることができるオリジナルダンス。夏の横浜の風物詩として定着するよう展開した。

原曲	童謡『赤い靴』
楽曲制作	チャンキー楽団
振付	近藤良平（コンドルズ）
協力	ダンスマスター（天然ダンス工房、ユニスタ、Lucky Strike）

前回に引き続き、市内の3つのダンスチームが、オリジナルダンス『レッド・シューズ』の振付を伝える「ダンスマスター」に就任。オリジナルダンスを発信した。



『レッド・シューズ』踊ってみた動画の展開

ジャンルを問わず、より多くの人に『レッド・シューズ』を踊ってもらうため、3組のダンスマスターをはじめ、よさこいやコンテンポラリー、日本舞踊など様々なジャンルで活躍するダンサーに自分たちのダンスの特色を生かした『レッド・シューズ』を踊ってもらい、YouTube等で展開した。

映像ディレクション

西野正将

<https://paradise.dance-yokohama.jp/redshoes/>



特別支援学校 レッド・シューズ ワークショップ

日程	5.20(木)～6.17(木)
会場	日野中央高等特別支援学校、二つ橋高等特別支援学校、若葉台特別支援学校
講師	コンドルズ(近藤良平、黒須育海、香取直登、安田有吾、山本光二郎) ダンスマスター(天然ダンス工房、ユニスタ、Lucky Strike)
参加者数	352人

「横浜ダンスパラダイス」の関連企画として、オリジナルダンス『レッド・シューズ』のワークショップを市内3校の特別支援学校で実施。『レッド・シューズ』を振り付けた近藤良平とコンドルズのメンバー、ダンスマスターが、生徒たちと一緒にリズム遊びから始め、それが徐々にオリジナルダンスへ発展。ダンスを身近に感じ、踊る楽しさを実感するプログラムとなった。



Photo:富田了平

特別支援学校 有志合同ワークショップ

日程	7.17(土)
会場	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
講師	コンドルズ(近藤良平、山本光二郎)、Lucky Strike(ダンスマスター)
参加者数	14人

市内3校で実施した『レッド・シューズ』ワークショップに参加した生徒の有志がステージ出演を目指し、合同ワークショップを開催。ステージ上での立ち位置やフォーメーションなどを学び、8.9(月・休)の「横浜ダンスパラダイス」でその成果を披露した。多くの観覧者の前で踊る楽しみを体感する初めての機会となった。



Photo:富田了平

横浜ラポール ダンスワークショップ

日程	7.11(日)、17(土)
会場	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
講師	コンドルズ(近藤良平、山本光二郎)、ダンスマスター(Lucky Strike)
参加者数	24人

近藤良平を講師に迎え、ダンスが好き、体を動かすことが好きな方を対象に、身体の使い方等を学べるワークショップを開催。
2日にわたるワークショップを通じて、近藤良平による創作ダンスを習得し、8.9(月・休)の「横浜ダンスパラダイス」のステージで成果を発表した。



Photo:富田了平

横浜ダンスパラダイス MC

ステージを盛り上げるMCに、FMヨコハマのDJが就任。最終日の10.16(土)には、6人のDJがMCとして登場し、会場を盛り上げた。また、「FMヨコハマDJ版 レッド・シューズ動画」を制作するなど、オリジナルダンス『レッド・シューズ』の展開にも貢献した。

出演 高橋茉奈、近藤さや香、Saku、ZiNEZージンジ-、石川舜一郎、穂積ユタカ

フィナーレスペシャルプログラム

「横浜ダンスパラダイス」の最終日、みなとみらい21地区の6会場で一斉に多彩なダンスステージが展開され、最後には締めくくりとなるフィナーレスペシャルプログラムを開催。ダンスマスター3組によるパフォーマンス、チャンキー楽団によるダンスナンバーの生演奏でステージを彩った。ラストは、近藤良平、ダンスマスター、そしてゲストアーティストが、チャンキー楽団の生演奏に合わせてオリジナルダンス『レッド・シューズ』を踊り、約3か月にわたって開催した「横浜ダンスパラダイス」の幕を閉じた。

日程 10.16(土)

出演 近藤良平、チャンキー楽団、ダンスマスター（天然ダンス工房、ユニスタ、Lucky Strike）

会場 クイーンズスクエア横浜 1F クイーンズサークル



Photo:大野隆介



Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021

横浜ベイサイドバレエ

日程 8.28(土)～29(日)

会場 象の鼻パーク 特設ステージ

出演 東京バレエ団

プログラム 『ギリシャの踊り』 振付：モーリス・ベジャール 音楽：ミクス・テオドラキス
『海賊』より パ・ド・トロワ 振付：マリウス・プティパ 音楽：リッカルド・ドリゴ
『ボレロ』 振付：モーリス・ベジャール 音楽：モーリス・ラヴェル

観覧・入場料 S席6,000円、A席4,500円 ほか

来場・参加者数 1,806人

主催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

横浜の海と夜景を背にした特設ステージで上質なバレエを上演するDance Dance Dance @ YOKOHAMAならではの人気企画。特にコロナ禍での開催となった今回は、象の鼻パークという広々として潮風が吹き抜ける上演空間そのものが観客に大きな安心感を与えた。出演は国際的にもトップレベルにある東京バレエ団、上演されたのは3演目。『ギリシャの踊り』は遠く響く潮騒の音から始まる作品で、リアルな海を借景にしたこの舞台にあまりにもぴったり。オープニングから観客を一気に引き込んだ。続く『海賊』よりパ・ド・トロワは、主役の女性1人と男性2人が海辺の洞窟できらめく踊りを繰り広げる同作のハイライトシーン。高さのあるリフトや艶やかな回転など、クラシックバレエの美技に会場が沸いた。ラストはベジャール振付『ボレロ』。赤い円卓に立つプリンシパルダンサーのカリスマティックな舞と、生命のエネルギーを掻き立てるようなラヴェルの音楽に、観客の興奮は頂点へ。両日とも拍手の鳴り止まぬ熱い舞台となった。



Photo:瀬戸秀美



(写真全て) Photo:瀬戸秀美

日程 [ワークショップ・オーディション] 5.15(土)
[映像収録] 9.2(土)

会場 [ワークショップ・オーディション] THE HALL YOKOHAMA
[映像収録] 横浜赤レンガ倉庫1号館 3Fホール

映像出演 TENDRE
yurinasia
松浦大樹 (Dr)、高木祥太 (Ba)、小西遼 (Sax / Synth)、AAAMYYY (Cho / Synth)
石山一輝、樹里、ひい、陽、桃子、Ayane、AZUMI、cocoro、curumi、ErikaYorozu、
HINA、hinata、konomi、Kyoichiro、MIO、Nana、Saki、SetoKen、sion、
jABBKLAB

衣裳 TANAKA

参加者数 [ワークショップ・オーディション] 69人
[映像収録] 38人

主催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

Dance Dance Dance @ YOKOHAMAと横浜音祭りをつなぐプロジェクトとして、「ダンス×音楽」をコンセプトにステージを企画。「ダンス」と「音楽」の対等な関係性を見せ得る2人のアーティストー横浜出身の河原太朗がソロ・プロジェクトとして展開するミュージシャンTENDREと、SNSへの投稿動画が話題となったのをきっかけに、いまや独創的な表現で数々の著名ミュージシャンのMV、TVCMへの出演・振付に引っ張りだこのダンサーyurinasiaに、白羽の矢を立てた。

また、同企画では次世代を担う才能の発掘・育成を目的に、18~25歳のダンサーを公募した。yurinasia本人によるワークショップ・オーディションには全国から100人近い応募があり、最終的に19人を選出。本番までの3か月間、出演者同士のコミュニケーションを深めながら、踊る喜びにあふれたクリエーションを重ねた。

象の鼻パーク 特設ステージでの公演を予定していたが、あいにくの雨により中止。横浜赤レンガ倉庫1号館 3Fホールで熱いステージを行い、その模様を映像に収録した。



(写真全て) Photo:大野隆介

日程	9.4(土)
会場	神奈川県民ホール 大ホール
振付	改定振付 ウラジーミル・ブルメイステル 第2幕振付 レフ・イワノフ、アレクサンドル・ゴールスキー（三羽の白鳥）
出演	オデット／オディール：上野水香 ジークフリート王子：柄本弾 ロットバルト：ブラウリオ・アルバレス ほか東京バレエ団
指揮	富田実里
演奏	神奈川フィルハーモニー管弦楽団
観覧・入場料	S席10,000円、A席7,000円、B席5,000円、C席3,000円 ほか
来場・参加者数	1,292人
主催	横浜アーツフェスティバル実行委員会
共催	神奈川県民ホール
協力	東京バレエ学校

時代を拓く現代のダンスだけでなく、正統的な古典バレエに触れる機会も提供することを主眼の一つに据えたDance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021では、東京バレエ団によるクラシック・バレエの代名詞的演目『白鳥の湖』全幕を上演した。不朽の名作だけに数多の演出版が存在する中、同団がレパートリーにしているのは明快なストーリーとドラマティックな展開で人気のブルメイステル版。美しい娘オデットが悪魔ロットバルトの呪いで白鳥に変えられてしまうプロローグから、王子との愛の深まり、絶望と許し、そして悪に打ち勝ち再び娘の姿に戻るまでの顛末が、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の生演奏に乗せて綴られた。主演はトッププリンシパル上野水香と柄本弾。円熟期にある上野のたおやかな白鳥と艶やかな黒鳥の見事な演じ分け、「世界一」とも称される同団の糸乱れぬ群舞、そしてこの版の最大の特徴である第3幕、舞踏会の場面で〈悪魔の手先〉たちが繰り広げる怒涛のキャラクターダンス（各国の踊り）等に、とりわけ大きな拍手が沸き起こった。



(写真全て) Photo:瀬戸秀美

日程 9.18(土)

会場 神奈川県民ホール 大ホール

プログラム・出演

『ステップテキスト』

振付・舞台装置・照明・衣裳：ウィリアム・フォーサイス

演出・振付指導：アントニー・リッツィー

出演：スターダンサーズ・バレエ団（渡辺恭子、池田武志、関口啓、林田翔平）

音楽：J.S.バッハ

『二羽の鳩』よりパ・ド・ドゥ

振付：フレデリック・アシュトン

出演：島添亮子（小林紀子バレエ・シアター）、厚地康雄（英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団）

音楽：アンドレ・メサジェ、編曲：ジョン・ランチベリー

『A Picture of You Falling』より

振付・テキスト：クリスタル・バイト

出演：鳴海令那（Kidd Pivot）、小尻健太

音楽：オーエン・ベルトン

作品指導：ピーター・チュー

マ・パヴロワより『タイスの瞑想曲』

振付：ローラン・プティ

出演：上野水香（東京バレエ団）、柄本弾（東京バレエ団）

音楽：ジュール・マスネ

『スバルタクス』よりパ・ド・ドゥ【日本初演】

振付：デヴィッド・ビントレー

出演：佐久間奈緒、厚地康雄（英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団）

音楽：アラム・ハチャトゥリアン

『椿姫のためのエチュード』

振付：モーリス・ベジャール

出演：中村祥子

音楽：フレデリック・ショパン、編曲：フランツ・リスト

『M』

振付：モーリス・ベジャール

出演：池本祥真（東京バレエ団）

音楽：黛敏郎

観覧・入場料 S席10,000円、A席7,000円、B席5,000円、C席3,000円 ほか

来場・参加者数 1,145人

主催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

共催 神奈川県民ホール

時代を変えた天才振付家たちのマスターピースに、日本のトップダンサーたちが挑戦。「日本のダンスの現在地を示す」という Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021のテーマにズバリ応える、高水準のパフォーマンスが繰り広げられた。鬼才フォーサイスの『ステップテキスト』で新境地を見せた渡辺恭子らスターダンサーズ・バレエ団。英国バレエの礎を築いたアシュトンの『二羽の鳩』は、初共演の小林紀子バレエ・シアター島添亮子と英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団厚地康雄が叙情性豊かなパートナーシップを見せた。厚地は公私共にパートナーの佐久間奈緒と、現代英国の物語バレエの紡ぎ手ビントレーの新作『スバルタクス』からドラマティックなパ・ド・ドゥを日本で初披露した。プティ振付『タイスの瞑想曲』を踊った東京バレエ団プリンシパルの上野水香と柄本弾は洗練の舞で魅了。中村祥子は初挑戦のベジャール振付『椿姫のためのエチュード』で圧倒的な身体性を見せた。また、池本祥真によるベジャール『M』の気迫のソロや、気鋭の振付家バイトの『A Picture of You Falling』を踊った鳴海令那と小尻健太も、研ぎ澄まされたムーヴメントで出色の演技。最後は全員でベジャール振付『火の鳥』のフィナーレを踊るサプライズも。観客から「1回公演だけではあまりにも惜しい！」と声上がるほどの盛り上がりを見せた。



(写真全て) Photo:瀬戸秀美

日程	9.23(木・祝)～26(日)
会場	KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉
プログラム・出演	『One to One』＊23～26日 出演：小林十市 振付：アブー・ラグラ 『近藤良平』＊23～26日 出演：近藤良平 振付・演出：MIKIKO 『失われた委曲』～抜粋ソロバージョン～ ＊23日 出演：安藤洋子 オリジナル作品 作・振付：ウィリアム・フォーサイス 『光陰如箭』＊24日 振付・出演：SAM (TRF) 振付・演出・謡：佐野登 『このままフェードイン』＊25日 出演：伊藤キム 振付・演出：BOXER & Hagri 『J・S・バッハ作曲“フーガの技法“ 1.2.9.6によるダンス』＊26日 出演：平山素子 演出・振付：笠井叡
観覧・入場料	一般4,000円 ほか
来場・参加者数	527人
主催	横浜アーツフェスティバル実行委員会／KAAT神奈川芸術劇場／横浜赤レンガ倉庫1号館

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 ディレクターの小林十市が「50代を迎えた自らの身体と向き合いたい」と同世代の近藤良平と共に企画。「50代ダンサーの星」とも称すべき安藤洋子、SAM (TRF)、伊藤キム、平山素子の4人を日替わりでゲストに迎え、全4日間にわたりトーク&ダンスを繰り広げた。各回とも小林と近藤のそれぞれのソロと、ゲストダンサーのソロからなるトリプルビル。小林はアブー・ラグラ振付の『One to One』、近藤はMIKIKO振付の『近藤良平』を踊った。ユニークだったのは、「踊る作品は自作せず、必ず他者に振付けてもらう」、「踊る順番は、開演後の舞台上でくじを引いて決める」といった独自のルールが課されていたこと。これらの着想は、ストリートダンスの名手SAMが能を舞うなど、50代を迎えたダンサーたちの新たな可能性を示すパフォーマンスの実現や、その場に居合わせることの楽しさ、「生」の舞台の醍醐味の創出につながった。同公演のチケットは発売後すぐにソールドアウト。客席には出演者と同世代と思しき観客のほか、10～20代の若者の姿も見られた。



(写真全て) Photo:鈴木龍蔵



(写真全て) Photo:鈴木雅蔵

Noism Company Niigata × 小林十市『A JOURNEY～記憶の中の記憶へ』

日程	10.16(土)～17(日)
会場	KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉
演出振付	金森穰
出演	小林十市、金森穰、井関佐和子、山田勇気、浅海侑加、ジョフォア・ポブラヴスキー、井本星那、三好綾音、中尾洸太、庄島さくら、庄島すみれ、坪田光、中村友美、樋浦瞳、杉野可林
衣裳	堂本教子
観覧・入場料	一般6,000円 ほか
来場・参加者数	1,382人
主催	横浜アーツフェスティバル実行委員会／KAAT神奈川芸術劇場
協力	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

20世紀を代表する巨匠振付家モーリス・ベジャールのバレエ団で活躍した小林十市と、その附属バレエ学校で学んだ金森穰。ベジャールという巨星のもとで出会った2人が、約30年の時を越えて初共演した。今回のDance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021でダンサーとして現役復帰を果たした小林のために、金森はベジャールの記憶を基軸に2部構成の作品を創作。テーマは「旅」。若き日の小林を写した写真がスクリーンに映し出されて1部がスタートし、ギリシャの作曲家マノス・ハジダキスの音楽で踊る小林と金森のデュオ『追憶のギリシャ』、Noism 0+1のメンバーの凄まじいエネルギーを小林が受けて立つ『BOLERO 2020』と続いた。2部はユーグ・ル・パールの音楽で綴る『The 80's Ghosts』。小林とNoismメンバーとの圧巻のユニゾン、小林の身を燃やし尽くすかのようなソロ、そしてラストは舞台に1人残った小林を、金森が新たな旅へと送り出した。客席は温かなスタンディングオベーションで満たされ、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021は感動の中で幕を閉じた。



Photo:瀬戸秀美



(写真全て) Photo:瀬戸秀美

『おさよ(落語版ジゼル)』 柳家花緑 × 東京シティ・バレエ団

日程	9.23(木・祝)		
会場	神奈川県立青少年センター 紅葉坂ホール		
出演	落語：柳家花緑 おさよ／ジゼル：清水愛恵 新三郎／アルブレヒト：キム・セジョン	ミルタ：植田穂乃香 ドゥ・ウィリ：折原由奈、清田カレン ほか東京シティ・バレエ団	
振付	安達悦子（東京シティ・バレエ団）		
入場料	一般3,500円 ほか		
観客数	367人		
主催	横浜アーツフェスティバル実行委員会		
制作	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 ティアラこうとう		
制作	公益財団法人東京シティ・バレエ団		
協力	ミーアンドハーコーポレーション、公益財団法人東京シティ・バレエ団、公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 ティアラこうとう		

村娘ジゼルと貴族の青年アルブレヒトの悲恋を描いたロマンティック・バレエの名作『ジゼル』。この物語を江戸時代に置き換えた柳家花緑の創作落語が、東京シティ・バレエ団による踊りとコラボレーションした。作品はバレエと同じく2幕構成で、ジゼルは「おさよ」、アルブレヒトは「新三郎」、ヒラリオンは「半ちゃん」。まずは落語で物語を楽しみ、続いてその場面の踊りを鑑賞するという形の進行が、落語ファンなどバレエを見慣れない観客にとっては優れた「バレエ入門」ともなった。花緑の話芸が特に光ったのは、バレエでいうところの精霊ウィリたちとその女王ミルタの表現。森に迷い込んだ男たちを踊り殺す死の精霊たちが、落語では気風のいい姉御に率いられた愛すべき「お化けたち」に。それぞれが命を落とした理由を語る場面などは、各キャラクターの個性が際立ち、抱腹絶倒の盛り上がりを見せた。そしてラストシーン。天から差す一筋の光、そのシンプルな照明一つでジゼルの魂が消えていく様を表現し、ほろりとさせた。



(写真全て) Photo: 鹿摩隆司

日程	9.12(日)
会場	横浜にぎわい座 芸能ホール
出演	柳家花緑、小林十市
プログラム	『つる』、『天狗裁き』、『鶴の池』(白鳥の湖)、トークショー
観覧・入場料	一般3,200円 ほか
来場・参加者数	174人
主催	横浜アーツフェスティバル実行委員会／横浜にぎわい座

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 ディレクターの小林十市と噺家の柳家花緑は実の兄弟。その縁から、ダンスフェスティバルとしては異色の「落語の独演会」が企画された。会場は笑いの殿堂、横浜にぎわい座。

『つる』と『天狗裁き』の古典落語2席で客席をたっぷり温めた後、クラシックバレエの名作『白鳥の湖』を江戸時代に読み替えた花緑オリジナルの創作落語『鶴の池』を口演。オデットは「彩乃」に、ジークフリート王子は「幸之助」に、悪魔ロットバルトは「玄秀」に。バレエではおなじみのストーリーを下敷きにして、花緑独自の巧みな話術と喜怒哀楽に富んだ表現力で新たな世界観を構築。バレエファンと落語ファンを丸ごと笑いの渦で包み込んだ。

アフタートークには兄・小林が登場。兄弟がバレエを始めたきっかけや、小林の海外生活についてなど、芸術一家のディープな話題が次々と飛び出し会場を沸かせた。舞踊の世界観と日本の伝統芸能が見事に紐づけられ、独創的で充実した公演となった。



(写真全て) Photo:菅原康太

DRAMATIC WORKS『SITA YOKOHAMA』

日程 9.25(土)~26(日)

会場 関内ホール 小ホール

構成・演出・振付 渡辺裕味子

振付・出演 篠原藍、南彩子、渡辺じゅり、中川賢、SHIMBA、吉崎裕哉

音楽・出演 中村浩之 [UN.a] (Key/Compose)、宇津木紘一 [UN.a] (Sax/Sampler)、前田竜希 (Ba)、Qujioki (Rap/Sampler)、津田悠佑 (Per)、増圭介 (Tb/Eup)、中浦ヒロ (Vn/Cho)、神田珠美 (Vn)、糸永衣里 (Va)、穴田貴也 (Vc)

観覧・入場料 一般3,000円 ほか

来場・参加者数 353人

主催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

主宰の振付家・渡辺裕味子を中心に、作品上演を主軸として活動を展開しているDRAMATIC WORKSは、異なるフィールドのダンサーで構成されたボーダレスなダンスエンターテインメント・ユニットである。今回のフェスティバルでは、レギュラーダンサーの金魚JAM(南彩子、渡辺じゅり)、篠原藍、中川賢、SIMBAと、NoismやCo.山田うんでも活躍したダンサー吉崎裕哉、そしてエレクトロジャズの新しい形を生み出すピアニスト/電子音楽家の中村浩之を迎えて、新作を上演した。会場となった関内ホールは、この公演だけの特設舞台として大きく様変わり。ステージが目の前に迫る濃密な空間に、6 (SITA、スワヒリ語で6の意) 人のダンサーと中村浩之を中心にした10人のミュージシャンが登場。前作の『SALTY LOVE』で見せた独創的で豊かなダンス、ドラマティックな展開、グラマラスな世界観を一層深化させ、オリジナル楽曲と共に観客を魅了した。



子供たちを対象としたダンスワークショップ等のプログラム以外にも、ダンスに興味をもつきっかけとなる、あるいは将来の夢への第一歩となるなど、子供たちにとって価値ある機会を提供する取組を行った。

学生招待

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA及び横浜音祭りでは、これまでもトップアーティストによる公演の鑑賞機会を若い世代に提供し、子供たちの感受性や創造性を育む機会の創出に取り組んできた。

今回は、横浜市在住・在学の小・中・高校生、専門・大学生を主催5プログラム7公演に招待。計230人の募集に対し、約500人の応募があった(※)。会場の都合により、残念ながら全ての方を招待することはできなかったが、応募に際しては「プロのダンサーを目指していて、生の舞台をたくさん観ることが1番勉強になるので応募した」、「なかなか観る機会がないのでぜひ観に行きたい」、「この機会に一度本物のバレエを見せてあげたい(保護者より)」といった声が寄せられ、鑑賞の機会が求められていることが感じられた。

※申込みは1人2公演まで、1公演あたり2枚まで(小・中学生は保護者同伴)とした。

横浜ベイサイドバレエ ゲネプロ招待

特別支援学校等へヒアリングする中で、「ライブ配信や録画された映像を見るよりも、会場を訪れて生で鑑賞する方が貴重な経験となる」といった声を多くいただいたことから、Dance Dance Dance @ YOKOHAMAでは初めての試みとして、「横浜ベイサイドバレエ」のゲネプロ(最終リハーサル)に子供たちを招待した。

市内特別支援学校及び児童福祉施設(横浜市社会福祉協議会児童福祉部会所属の施設)を対象に募集し、25組84人の応募があった。来場した子供たちは夏の暑さが残る夕間の中、美しい港を背景に、東京バレエ団の本番同様の迫真のパフォーマンスを楽しんだ。

こども記者

主催プログラム等に出演するアーティストに取材する“こども記者”。

一つは、バレエ専門メディア「バレエチャンネル」との協働で、バレエを習う6名の子供たちが、「International Choreography × Japanese Dancers〜舞踊の情熱〜」に出演した鳴海令那さんと小尻健太さん、そして「東京バレエ団『白鳥の湖』」に出演した中島映理子さんとブラウリオ・アルパレスさんに取材した。

もう一つは、NPO法人ミニシティ・プラスが運営するMMジュニア編集局及びつづきジュニア編集局のメンバーが、横浜ダンスパラダイス企画アドバイザーで振付家・ダンサーの近藤良平さんと、「横浜ダンスパラダイス」に出演した市民ダンサーにインタビューを行った。

普段なかなか接する機会のない振付家やプロダンサーへのインタビューに緊張する様子も見られたが、最後には子供たちも、インタビューされたダンサーたちも、笑顔でいっぱい。自分で質問を考え、話を聞き、そして自分で記事をまとめるという、ダンスを通じたこれまでにない「次世代育成」の企画となった。



18区ダンスワークショップ

日程・会場

日程	区	会場	クラス
7.26(月)	港北区	港北スポーツセンター	チアダンス
7.27(火)	旭区	サンハート(旭区民文化センター)	ジャズダンス
7.28(水)	栄区	リリス(栄区民文化センター)	Hip Hop
7.29(木)	保土ヶ谷区	岩間市民プラザ	チアダンス
7.30(金)	金沢区	金沢公会堂	親子創作ダンス
8.2(月)	瀬谷区	瀬谷地区センター	親子創作ダンス
8.3(火)	戸塚区	さくらプラザ(戸塚区民文化センター)	チアダンス
8.4(水)	青葉区	アートフォーラムあざみ野(男女共同参画センター横浜北)	Hip Hop
8.5(木)	鶴見区	サルビアホール(鶴見区民文化センター)	Hip Hop
8.6(金)	磯子区	杉田劇場(磯子区民文化センター)	チアダンス
8.10(火)	南区	吉野町市民プラザ	チアダンス
8.11(水)	西区	急な坂スタジオ	ジャズダンス
8.12(木)	港南区	港南台地区センター	Hip Hop
8.17(火)	緑区	みどりアートパーク(緑区民文化センター)	Hip Hop
8.18(水)	都筑区	都筑スポーツセンター	Hip Hop
8.19(木)	中区	野毛地区センター	チアダンス
8.20(金)	泉区	テアトルフォンテ(泉区民文化センター)	チアダンス
8.23(月)	神奈川区	かなっくホール(神奈川区民文化センター)	Hip Hop

講師

[創作ダンス] 山本光二郎(コンドルズ)、GRITS ACADEMY
 [チアダンス] 横浜DeNAベイスターズオフィシャルパフォーマンスチーム diana、横浜F・マリノス公式チアリーディングチーム Tricolore Mermaids、横浜ビー・コルセアーズチアリーダーズ B-ROSE、横浜GRITSオフィシャルチアリーダーズ GRITS TOPAZ
 [Hip Hop] 宮川一彦(DAZZLE)、NATSU from Rei Dance Collection
 [ジャズダンス] 多賀直海、Mayumi from Rei Dance Collection

参加費

500円

参加者数

697人(参加者・講師368人、見学者329人)

主催

横浜アーツフェスティバル実行委員会

「ダンスを踊ってみたい!」、「ダンスを習ってみたい!」。横浜市在住・在学の満3歳から小学校6年生までのダンス初心者を対象に、経験豊かなプロダンサーが指導を行った。会場となったのは区民文化センターやスポーツセンター等。ダンスへの興味を高め、体を動かす楽しさや表現力を培うことを目的として、創作ダンスやHip Hop、チアダンスといったバラエティに富む全36クラスを、ジャンル別・年齢別に全18区で開講した。

感染症対策として、1クラスの人数は少人数に抑えた。これによって講師と子供たちの距離が近くなり、直接的かつきめ細やかな指導が実現できた。講師側も受講者一人ひとりへの声かけや励ましを心がけ、温かい雰囲気をつくった。初めてダンスレッスンを体験する受講者たちは、最初は緊張気味だったものの、段階を踏みながらの丁寧な指導により、最後には課題の振付を覚えて踊ることができた。ダンスを通して、新たな発見が生まれ、終了時には全員が達成感に満ちた様子だった。



Photo:大野隆介



Photo:大野隆介



Photo:大野隆介



Photo:大野隆介



Photo:大野隆介



Photo:大野隆介



Photo:大野隆介



Photo:大野隆介



Photo:菅原 康太



Photo:菅原 康太

ダンス部応援プロジェクト！

日程 8.6(金)

会場 横浜武道館

講師 s+t kingz

参加校 白鵬女子高校(鶴見)、市立横浜サイエンスフロンティア高校(鶴見)、県立横浜平沼高校(西)、市立みなと総合高校(中)、
県立横浜緑ヶ丘高校(中)、県立市ヶ尾高校(青葉)、中央大学附属横浜中学・高校(都筑)

来場・参加者数 344人

主催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

「ダンス部応援プロジェクト！」は、中学・高校生ダンサーのダンスの技術力・表現力の向上を目的に、著名なプロダンサーが中・高ダンス部を訪問してワークショップを実施する次世代育成プログラム。今回はダンサーが各学校を訪問する形ではなく、市内7校のダンス部が横浜武道館に集まり、3部制で合同ワークショップを開催した。

講師は、世界が注目するダンスパフォーマンスグループs+t kingzが務めた。憧れのアーティストの登場に大きな拍手が沸き起こり、目を輝かせる生徒たち。しかしワークショップが始まると、表情は真剣そのものに。表現に重点を置いたダンステクニックの指導、プロならではのアドバイス。普段の部活動とは異なるスペシャルレッスンに、積極的な姿勢と集中力をもって取り組んでいた。最後には、s+t kingzのナンバー(作品の一部を抜粋)を全員で一緒に踊り、生徒たちにとって忘れられない、夢のような時間となった。



(写真全て) Photo:大野雅介

日程 10.21(木)～2022.2.24(木)

会場 市立小学校・特別支援学校9校

講師・参加校

講師	区	参加校(対象)
森下真樹	鶴見	平安小学校(個別支援学級)
中村恩恵	南	太田小学校(3年生)
黒田育世	南	南小学校(個別支援学級)
アオキ裕キ	港南	日限山小学校(個別支援学級)
小野寺修二	保土ケ谷	川島小学校(4年生)
アオキ裕キ	保土ケ谷	ろう特別支援学校(高等部)
Co.山田うん(川合ロン)	港北	師岡小学校(3年生)
東野祥子	戸塚	倉田小学校(5年生)
白神ももこ	栄	豊田小学校(個別支援学級)

参加者数 3,630人

主催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

運営 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

制作協力 NPO法人Offsite Dance Project

音楽、美術、演劇、ダンス、伝統芸能など、幅広い分野で活動するプロのアーティストが横浜市内の小・中学校等に出向き、子供たちが本物の文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくる「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」。今回、Dance Dance Dance @YOKOHAMA 2021と連動することで実施回数を増やし、【体験型スペシャル版】としてダンスワークショップを企画した。講師を務めたのは、子供たちの個性を引き出し、表現を創り出す才能豊かな振付家・ダンサーたち。子供たちが身体と心で楽しみながら、「ダンス」と触れ合う機会となった。市内9校で実施し、師岡小学校では校舎を飛び出し、港北公会堂で講師と創り上げた作品の発表会も行った。その他の学校も、イラストレポートを作成してその様子を公開した。



Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021の開催にあたり、全てのお客様に安心してご観覧・ご参加いただけるよう、国や県のガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染症対策に最善を尽くした。

コロナ禍で様々なイベントが中止となり、日本のアーティストや文化芸術関連団体・事業者は大きなダメージを受けた。困難な状況が続く中、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021の開催を通じて関係者の方々に支援し、活動できる場をつくること、そして市民を含め多くの方が直接、文化芸術に触れられる機会をつくることを目指した。

開幕に先駆けて7月からスタートした「横浜ダンスパラダイス」は、オープンスペースを会場に、観覧無料で開催。それゆえの密対策の難しさがあったが、感染症対策の専任スタッフを配置し、観覧エリア入場時の検温・消毒と「LINEコロナお知らせシステム」の登録確認を徹底した。また観覧エリア周辺では、ディスタンス確保のご案内・お声がけ等を行った。出演者に対しても、体調管理等基本的な対策をお願いするとともに、会場のスペースに合わせた出演人数の上限の設定、控室利用を団体ごとの入れ替え制にするなど、細かな調整も行った。出演者からは「久しぶりにお客様の前で踊ることができてよかった」という声を多くいただいた。

主催公演は、国・県のガイドラインに示される、大声での歓声・声援等が想定されない催物であることから、通常の座席配置で実施した(※)。しかし、緊急事態宣言下となった9月末までの公演は、収容定員50%以内での開催となった。お客様には、検温・消毒へのご協力、チケットをご自身でもぎっていただく、終演後の規制退場など、コロナ禍以前には行っていなかったことをお願いする形となったが、皆様のご協力の下、大きな混乱が生じることなく運営できた。

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021の開催により、今後民間事業者・市民団体等がイベント開催に向けて積極的になり、ひいては横浜の街に賑わいが戻ることを願う。

※会場のガイドラインに基づき、隣席を空ける座席配置で開催した公演もあった。

実施した感染症対策

- ・検温・手指消毒
- ・会場内の換気(屋外プログラムを除く)
- ・会場内(客席等)の消毒
- ・ソーシャルディスタンスの確保(会場受付での仕切り設置、会場内のフットマークの設置等)
- ・マスク着用
- ・出演者及びスタッフの健康管理(日々の検温実施等)
- ・市内の感染状況に応じたPCR検査や抗原検査の実施

来場者への協力依頼

- ・神奈川県「LINEコロナお知らせシステム」への事前登録(登録できない方は「来場者カード」への記入)
- ・体調不良時等の来場の自粛
- ・検温、手指消毒、マスク着用、声援禁止等
- ・出演者等へのプレゼントや面会の自粛



Dance Dance Dance @ **YOKOHAMA 2021**

共催プログラム

s**t kingz Dance Live 2021～ダンスが好きなただの変人～

日程 9.16(木)～20(月・祝)

会場 関内ホール 大ホール

作・振付・演出・出演 s**t kingz

観覧・入場料 8,500円

来場・参加者数 4,840人

主催 キョードー横浜

shoji, kazuki, NOPPO, Oguriからなる4人組、s**t kingz(シットキングス)。

アメリカ最大のダンスコンテスト「BODY ROCK」で2010年から2年連続優勝を果たし、これまで20か国以上に招かれた、世界が認めるダンスパフォーマンスグループが、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018に引き続き、市内の中学・高校ダンス部を対象とするワークショップ「ダンス部応援プロジェクト!」の講師を務めるとともに、新作公演でフェスティバルを盛り上げた。

今回の公演「s**t kingz Dance Live 2021～ダンスが好きなただの変人～」は2021年1月に発売した、1st見るダンス映像アルバム『FLYING FIRST PENGUIN』を中心に構成。遊び心が入ったソロパフォーマンスやコントコーナー、セクシーやロマンチック、コメディ、チルなど、様々なダンスナンバーが披露された。客席は笑顔と熱気が溢れ、大きな拍手で沸き、一体感で包まれた。



日程	10.3(日)
会場	神奈川県民ホール 大ホール
出演・プログラム	新国立劇場バレエ団『パキータ』 谷桃子バレエ団『ジゼル』第2幕 東京シティ・バレエ団『Air!』 牧阿佐美バレエ団『アルルの女』
観覧・入場料	S席12,000円、A席9,000円、B席6,000円、C席3,000円
来場・参加者数	1,150人
主催	NHK横浜放送局／NHKプロモーション
共催	神奈川県民ホール

日本を代表するバレエ団が、カンパニーの粋を超えて一堂に会する「NHKバレエの饗宴」。例年、東京・渋谷のNHKホールで開催されてきた華やかなステージが、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021に登場した。

今回は国内の4つのバレエ団が、クラシックからモダンまで多彩な演目を上演。新国立劇場バレエ団は、クラシック・バレエの華麗なる技巧が散りばめられた見どころ満載の『パキータ』を披露した。ロマンティック・バレエの傑作『ジゼル』を踊ったのは谷桃子バレエ団。東京シティ・バレエ団の『Air!』は、ドイツの振付家ウヴェ・ショルツによる作品。有名なバッハの『G線上のアリア』に乗って軽やかに踊った。そして今回、ローラン・ブティの作品が「バレエの饗宴」に初登場し、名作『アルルの女』を牧阿佐美バレエ団が上演した。ダンサーたちの迫真の演技、1年に一度きりの豪華絢爛な舞台は、まさに「夢の饗宴」となった。



第10回 カレッジフラコンペティション2021

@YOKOHAMA 2021

日程	8.14(土)~15(日)
会場	関内ホール 大ホール
観覧・入場料	1階前方席5,500円、1階後方席4,950円、2階席4,400円
来場・参加者数	1,295人
主催	カレッジフラコンペティション実行委員会

全国の大学生・専門学校生を対象に、メレの理解度、フラの技術の高さ、そしてフラならではの美しさを競い合う競技会。Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012を契機に始まった本競技会は今回で10回を迎え、全国から参加があった。超満員の会場で、ソロの部19人、団体の部15チームがステージに立った。ソロの部は群馬県立女子大学の皆川詩音、団体の部は青山学院大学「ウルヴェヒ」が優勝を飾った。また今回、エキシビション枠として、高校生や男子大学生等のチーム6団体が参加した。



第14回 日本高校ダンス部選手権 全国大会

日程	8.18(水)~19(木)
会場	パシフィコ横浜 国立大ホール
観覧・入場料	S席6,000円、一般4,500円
来場・参加者数	4,121人
主催	(一社)ストリートダンス協会／産経新聞社／フジテレビジョン

高校ダンス部日本一を決める大会、第14回 日本高校ダンス部選手権(スーパーカップDANCE STADIUM)全国大会を開催した。7つの地区大会で合計545校の中から優秀な成績を収めた、ビッグクラス40校とスモールクラス50校が出場した。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、ビッグクラス・スモールクラスとも過去最多のチームエントリー数だった。注目の結果は、ビッグクラスは福岡大学附属若葉高等学校(福岡)、スモールクラスは初芝立命館高等学校(大阪)がそれぞれ初優勝を飾った。

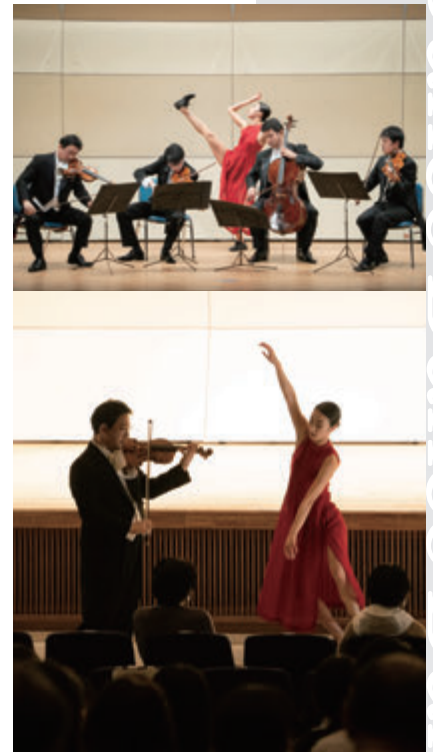


Dance Dance Dance

日程	11.26(金)
会場	西公会堂
出演	小暮香帆、ハマのJACK(白井篤(Vn)、東亮汰(Vn)、村松龍(Va)、海野幹雄(Vc)) NPO法人楠の木学園
観覧・入場料	無料
来場・参加者数	201人
主催	横浜市教育委員会

横浜教育支援センターのハートフルスペース及びハートフルルームに通室している、または民間教育施設において支援を受けている小学生から高校生までの子供たちを対象に、年1回開催されている芸能鑑賞会。今回初めてDance Dance Dance @ YOKOHAMAと連携し、プロのアーティストによるパフォーマンスに触れ、ダンス・音楽の楽しさを体感していただく機会を設けた。

前半が楠の木学園に通う子供たちによる和太鼓演奏、後半がダンサー・振付家の小暮香帆とハマのJACKメンバーによる、この日のためのスペシャルプログラム。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの美しい旋律と、その音楽を体現した流れるようなダンスを観客は息を吞んで見つめた。客席後方から前方に向かって歩きながらのヴァイオリン演奏とダンスのコラボレーションなど、ダンサーと演奏者お互いが引き立てあい、ダンスと音楽双方の魅力を存分に引き出した。あつという間のひとときで、最後は会場が温かな拍手に包まれた。



(写真全て) Photo:大野隆介

Dance Dance Dance

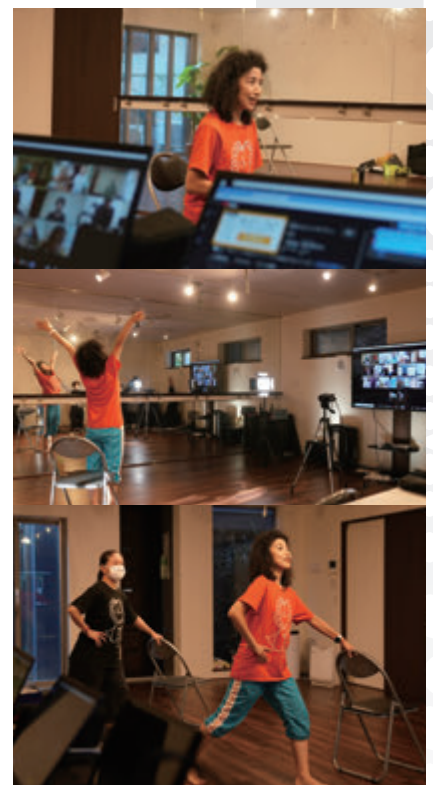
共生共創事業 チャレンジ・オブ・ザ・シルバー

日程	9.7(火)、10.26(火)
会場	BMYSTUDIO(オンライン動画配信)
講師	安藤洋子
参加費	無料
参加者数	62人
主催	神奈川県

県内の60歳以上のシニアを対象に継続的なワークショップを重ねながら、年に一度、安藤洋子企画・演出のインスタレーションパフォーマンス作品を制作する「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」。2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン(Zoom、YouTube Live)配信でのワークショップを実施した。

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021と連動した9・10月のワークショップでは、身体を動かしながら解剖学的な身体の仕組みを学び、自身の身体可動域を広げていくトレーニングを重点的に行った。「家族以外の方とコミュニケーションをとりながら身体を動かす機会があって嬉しい」、「心も身体も軽くなった」等の感想が寄せられた。

※ 神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与するため、文化芸術の分野においても、「ともに生きる ともに創る」を目標に、年齢や障害などに関わらず、子供から大人まで全ての人が、舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施している。



YOKOHAMA 2021

日程	12.26(日)
会場	パシフィコ横浜 プラザ広場、 クイーンズスクエア横浜 クイーンズパーク、 横浜ランドマークタワー ドックヤードガーデン
出演	33団体(ハマこい部門:23、フリースタイル部門:10)
観覧・入場料	無料
来場・参加者数	4,200人
主催	ハマこい実行委員会

横浜の夏の風物詩となった、“ハマこい”。今回は新型コロナウイルス感染症の影響により延期となったが、寒空の下、12月に開催した。ハマこい部門23組のほか、オールジャンルのフリースタイル部門10組が参加し、1,200人の演者による熱い演舞を披露した。出演者には当日まで徹底した感染症対策をお願いし、当日各会場ではソーシャルディスタンスの確保に努め、多くの方々に安全にお楽しみいただいた。臨場感あふれるクイーンズパーク、奥行を生かした躍動的なステージとなったドックヤードガーデン、そしてパシフィコ横浜 プラザ広場でのコンテストと、演舞する人も観る人たちも一緒になって感動し、楽しめるイベントとなった。



施設連携事業

市民が気軽にダンスイベントに参加・体験できる機会を市内全域でつくるため、市内の文化・観光施設等がそれぞれの特性を生かしたダンス関連プログラムを企画・実施した。

【実施数】

17 件（うち 4 件中止等）

ダンス縁日 2021



日程	7.17(土)～8.29(日)
会場	象の鼻テラス
出演	市民ダンサー42組、ゲストダンサー 3 組(村田正樹、清水夏生、榎本愛子、伴奏:岡村正子)
観覧・入場料	無料
来場・参加者	2,830人
主催	象の鼻テラス

夏の恒例ダンスイベントとして、第6回目の開催を迎えた「ダンス縁日」。今回は、40組を超える市民ダンサーやゲストダンサーが参加し、イベントを大いに盛り上げた。コロナ禍で沈んだ世の中に、感染症対策などを徹底し、市民が主役になる表現発表の機会を創出し、世界各国のダンスの紹介や関連文化を紹介するイベントとして、魅力的な街づくりに繋がる役割を果たした。

子どものための日本舞踊ワークショップ&展示



日程	〔ワークショップ〕7.28(水)～31(土) 〔展示〕9.28(火)～10.10(日)
会場	岩間市民プラザ
講師	藤間恵都子
参加費	5,500円
来場・参加者	135人
主催	岩間市民プラザ

日本舞踊ワークショップでは、小学生が浴衣の着付けから和室での作法、すり足や首ふり、おすべりにヤットン拍子、お扇子を使っているいろいろな表現をしてみるなど、日本舞踊の基礎を学んだ。自分で浴衣が着られるようになってから、踊りの練習も実施。最終日には家族に向けたミニ発表会を行った。ワークショップの様子は写真撮影し、後日ギャラリーで写真パネル展を開催。併せて講師の藤間恵都子氏制作の日本舞踊ワークショップ動画も上映した。

The SEVEN SEAS 2021



日程	9.17(金)～20(月・祝)
会場	大倉山記念館
出演	板垣朝子、大崎晃伸、木樽朱美、中島晶子、堀江進司、山野遼明香、リナ・リッチ
観覧・入場料	1,500円
来場・参加者	248人
主催	大倉山記念館

「The SEVEN SEAS 2021」では、回廊式のギャラリーの特性を生かし、様々な場所、視点から感性を刺激する参加型のプログラムを実施した。基となる振付を7人のダンサーが担当の振付師と共に、建築物や空間といった無機質との対話を自己表現として演出。また、関連企画即興セッション「そめき」では、音でつむぐ『青のそめき』とダンスでつむぐ『赤のそめき』と題し、ダンサーの即興力と偶然性が生み出す表現が、来場者を魅了した。

身近に能楽！仕舞編 「仕舞鑑賞・体験と能楽堂見学」、「3日でマスター！仕舞ワークショップと発表会」



日程	9.18(土)～11.20(土)
会場	横浜能楽堂
講師	梅若紀彰(観世流)
参加費	「仕舞鑑賞・体験と能楽堂見学」：2,500 円 「3日でマスター！仕舞ワークショップと発表会」：18 歳以上 10,000 円、18 歳未満 6,000 円
参加者	175人
主催	横浜能楽堂

敷居が高いと思われがちな能楽に気軽に触れることをテーマに、「仕舞鑑賞・体験と能楽堂見学」では、能の一部である仕舞の鑑賞や、能楽師の案内による能舞台と舞台裏の見学、舞台上がったの能の所作体験、面や装束の紹介などを通じて、身近に能楽を感じてもらった。「3日でマスター！仕舞ワークショップと発表会」では、3日間の仕舞ワークショップで短い仕舞を1曲マスターし、本舞台で発表会を実施。幅広い世代の参加者に、「能」の面白さを伝えた。

日本シニアチア協会オフィシャルユニット特別公演 & シニアチアワークショップ



日程	〔公演〕9.20(月・祝) 〔ワークショップ〕10.7(木)、16(土)、21(木)、28(木)、11.4(木) 〔発表会〕11.7(日)
会場	リリス(栄区民文化センター) ホール
出演	日本シニアチア協会オフィシャルユニット Team JSCA(チーム ジェスカ) & JSCA Masters(ジェスカマスターズ)
観覧・入場料	無料
来場・参加者	234人
主催	リリス(栄区民文化センター)

日本シニアチア協会オフィシャルユニットの公演とワークショップを開催。講師によるワークショップでは、市内のシニア・ミドルを中心に広く参加者を募り、全5回のワークショップを経て、成果発表会を実施した。発表会では、ワークショップ参加者から5人がステージに立ち、その周りをシニアチアチームが彩りを添えた。出演者と来場者が一体となって会場を盛り上げ、全員が参加できるイベントとなった。

日本舞踊家集団 弧の会



日程	9.23(木・祝)
会場	テアトルフォンテ(泉区民文化センター) ホール
出演	弧の会(泉徳保、市山松扇、猿若清三郎、西川扇衛仁、藤間勘護、藤間仁凰、若柳里次朗)
観覧・入場料	3,000円
来場・参加者	156人
主催	テアトルフォンテ(泉区民文化センター)

日本舞踊をより身近に楽しんでもらうために解説やデモンストレーションを取り入れた公演を開催。『はじめ式』では天下泰平・国土安穩・五穀豊穡・疫病退散を祈り、『月光』では滝廉太郎の『荒城の月』をモチーフに、幻想的な照明に紋付・袴のみの「素踊り」というシンプルな舞台を展開した。また、幕間では3つの流派(泉流、市山流、藤間流)が同時に同じ曲を踊り、流派ごとの踊りの違いを紹介するデモンストレーション『七福神』を実施した。

みどりアートパーク ワークショップシリーズ (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)



日程	I 9.25(土)、II 10.7(木)、III 10.10(日)・11.14(日)
会場	みどりアートパーク(緑区民文化センター) リハーサル室
講師	I 藤田善宏、II 安藤洋子、III 西洋子
参加費	I・III 無料、II 1,000円
参加者	61人
主催	みどりアートパーク(緑区民文化センター)

身近な文化施設「区民文化センター」で身体表現の可能性を開く「ラボ」的シリーズ。誰でもダンスを気軽に楽しみ、ダンスを通じた表現やコミュニケーションを体験することを目的に、I 中高生ダンスクリニック、II 身体と向き合うシニアのためのワークショップ、III インクルーシブダンスワークショップの3本立てで実施した(IとIIIは感染拡大防止の観点から、オンラインに変更して実施)。

パントマイム公演

「シルヴプレのみちくさんぽ in 横浜人形の家」



日程	9.26(日)
会場	横浜人形の家 あかいくつ劇場
出演	シルヴプレ(柴崎岳史、堀江のぞみ)
観覧・入場料	一般2,000円、学生800円
来場・参加者	99人
主催	横浜人形の家

パントマイムユニット「シルヴプレ」が独自の視点で創り上げたオリジナルのマイム作品を上演。横浜での大道芸イベントのほか、国内各地、フランスをはじめとする海外フェスティバルにも出演している彼らのパントマイムは好評を得た。コロナ禍で軒並みイベント中止が続く中での開催に大道芸ファンは喜び、足を運んでくれた。感染拡大状況下だったため、子供の来場は少なかったが、50%定員で安全に開催でき、満足度の高い公演となった。

あしおとでドラマするビジュアルパフォーマンス



日程	[ワークショップ]9.26(日)、10.3(日)、10(日)(午前・午後)、17(日) [公演]10.17(日)
会場	吉野町市民プラザ
出演	総合演出:塩田久人、クリエイティブディレクター・演出振付:おどるなつこ、 タップダンサー・出演:メッセンジャー(NPO法人あしおとでつながろうプロジェクト)・ワークショップ参加者、 ゲスト・タブラ:指原一登、ゲスト:船木真那(武松商事株式会社)
観覧・入場料	1,000円
来場・参加者	87人
主催	吉野町市民プラザ

5回のワークショップでは、テーマの「楽しむ!」のもと、「タップによるリズム」・「タブラの音に触れ楽しむ」・「映像に合わせて」・「廃材からペイントアート」など、毎回様々な表現が即興で生まれていった。参加者の自由な発想で廃材集団が急遽結成されたり、即興ペインティングでできあがった作品を加工して記念ハガキにしたり、完成形のないワークショップ・作品ができあがった。また、作品発表当日の様子はオンライン配信し、リアルタイムでの鑑賞が可能となった。

梅田宏明「indivisible substance」 ワークインプログレス オンライン(ライブ) + 劇場上演



日程	10.6(水)~7(木)
会場	横浜赤レンガ倉庫 1 号館 3Fホール
出演	中村優希、大塚郁実、梅田宏明
観覧・入場料	1,000円
来場・参加者	168人
主催	合同会社S20/横浜赤レンガ倉庫 1 号館

オンライン上演用に制作された梅田宏明のディレクション・振付によるワークインプログレス。劇場におけるダンス作品とモニター上でのダンス作品は全く異なったコミュニケーションである、という仮説のもと、モニター上で起こるダンスとは何かという問いに対する一つの提案として開催した。物理的な身体のダンスを見せるのではなく、距離と空間を超えたモニターの先の観客のマインドにどのようにダンスを創出させるかを探った。

DIGITAL//REALITY



日程	10.9(土)~17(日)
会場	かいだん広場、7artscafe、高架下スタジオSite-D集会場
出演	上杉満代、高松真樹子、大野一雄、DAIPAN舞踏コレクティブ、クリスタル・サバー、エウヘニア・バルガス、 ヴァンジェリン・シアター、大野あんり、鏡ざゆら、加藤道行、金景雲、久世亜紀、久世龍五郎、馬場悠衣、松本れい子、莉玲
観覧・入場料	無料(ワークショップのみ参加費1,500円)
来場・参加者	250人
主催	「DIGITAL//REALITY」プロジェクト/黄金町エリアマネジメントセンター

「DIGITAL//REALITY」をテーマに、コロナ禍により一変した世界の「現在」を表現する複数のプログラムを実施。上杉満代と高松真樹子による実験的公演『メランコリア- Mの肖像』、大野一雄の代表的作品『O氏の肖像』の上映、若手舞踏家による公演、海外舞踏家による映像上映、ワークショップ等を通じ、コロナ禍で発達したオンライン「DIGITAL」世界を、現実の世界「REALITY」に戻そうと試みたプログラムを実施した。

狂言・ダンス・音楽による「兵士の物語」



日程	10.13(水)
会場	かなっくホール(神奈川区民文化センター) ホール
出演	狂言:高澤祐介、ダンス:伊藤キム、ヴァイオリン:川又明日香 ほか
観覧・入場料	2,000円
来場・参加者	96人
主催	かなっくホール(神奈川区民文化センター)

『兵士の物語』は、ストラヴィンスキーが第一次世界大戦中に小規模に上演できるように作った音楽劇。「本当に大切なものは何か?失った日常の大切さを思う」というテーマから、コロナ禍に上演する意義や非日常をより強調するため、狂言による兵士、悪魔をイメージさせるコンテンポラリーダンス、選りすぐりの7人の弦管楽器奏者による演奏という音楽劇を提供した。狂言・ダンス・音楽、どれもが、来場者の心に感動を届けた。

Play New Map City



日程	10.16(土)、11.3(水・祝)
会場	STスポット
出演	Aokid、ゲスト:米澤一平、小暮香帆
観覧・入場料	2,000円
来場・参加者	28人(視聴数20)
主催	STスポット

STスポットとダンサー・アーティストのAokidが協働して行ったオープンスタジオ企画「Play New Map City」は、劇場を“多様な思考と身体が集まる場所”と捉えてパフォーマンスやリサーチを行い、新たな表現方法を模索したプログラム。今回は、過年度に行ってきた内容をブラッシュアップし、対象を子供・親子に広げ、小劇場へ足を運びづらい層も取り込み、劇場空間や機構を存分に生かしながら、ドローイングやダンスを体験・鑑賞するプログラムを行った。

公募サポート事業

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 の会期に合わせて、様々な団体がダンス関連プログラムを企画・実施した。

【申請数等】

申請数 27 件
採択数 18 件（うち 1 件中止）

Viva ! Tsunagaru = Solidário 横浜とサンバをつなぐ！



日程	6.19(土)～9.20(月・祝)
会場	象の鼻パーク、神大寺地区センター ほか
出演	プロコ城南、レイ カボエイラップ、カボエイラヘジョナウジャパン、ガランチード、ピーラジール、アシェ、サンバソリダリオ、三宅太鼓、Zumba、Tulsi ほか
観覧・入場料	無料
来場・参加者	980人
主催	NPO法人ブラジルsolidário横浜

和太鼓・Zumba・カボエイラ・インド舞踊・ワールド社交ダンス・サンバなどの世界の音楽や踊りを披露するステージの開催及び映像配信を実施。ブラジルからの映像や、コロナ禍により現地への参加は難しいが映像で参加したいというチームの演目を、YouTubeで視聴した方は300人以上。「つながる横浜」をキーワードに、日本のみならず世界の様々な地域をつなぎ、視聴者には長引く閉塞感の中で伝統の三宅太鼓など感動を届けた。

赤いゆび舞踊祭

Indian Dance Festival at Yokohama 2021



日程	8.28(日)～9.30(木)
会場	BUKATSUDO
出演	バラタナティヤム:富安カナメ・今成エリカ、南インドのパーカッション:入野智江ターラ・岩田豊美、オリッシー:篠原英子・山崎春・大町そよ・沼田はるか、カタック:前田あつこ・Paulomi Bharman、パウル:パロミタ、モヒニヤッタム:Neena Sakthikumar、ラージャスターナダンス:マドゥ ほか
観覧・入場料	前売3,300円／当日3,850円／オンラインチケット1,100円
来場・参加者	99人
主催	カダムジャパン

高らかな太鼓の音に誘われ、裸足でしっかりと踏み込まれるステップに入り、ふんわり漂う笛の音に夢見心地になった頃、黒く大きく縁取られた目の動きに物語を感じ、赤く彩られた指先で舞うインド舞踊独特の世界観を表現し、全身で異文化を感じるインド舞踊祭を開催した。緊急事態宣言下での開催となり、公演規模は縮小したが、オンラインで舞踊祭を開催し、会場へ足を運ぶことができない方々にインド舞踊の世界観を届けた。

月灯りの移動劇場「Peeping Garden / re:creation」



日程	9.10(金)～12(日)
会場	横浜赤レンガ倉庫 1号館 3Fホール
出演	浅井信好、奥野衆英、杉浦ゆら
観覧・入場料	前売4,000円／当日4,500円
来場・参加者	164人
主催	月灯りの移動劇場

コロナ禍の中、舞台芸術に触れる機会が少なくなってきた社会状況を踏まえ、観客が安心して鑑賞できるニューノーマルな鑑賞形式を提案することを目的として企画。覗き穴(ドアスコープ)と郵便受けの2つの穴がある30枚の扉と壁から構成され、個室空間から内部のパフォーマンスを鑑賞する「ソーシャルディスタンス円形劇場」を使用して、45分間のコンテンポラリーダンス作品『Peeping Garden / re:creation』を上演した。

ヨコハマベリーダンスフェスティバル 2021



日程	9.17(金)
会場	かなっくホール(神奈川県民文化センター) ホール
出演	Izumi、MAHA、Lana、Chie Noel、Peco、ACSLI、Hannah、Hcin、Salima、Nisaa、Kahina、Ikuyo、Kana、Racjida、Ayla、Aysha、Tomomi、Chihoko
観覧・入場料	1,000円
来場・参加者	273人
主催	Izumi Oriental Dance Studio

今年のベリーダンスフェスティバルは、リアルとオンライン併用で開催した。横浜で活躍するプロダンサーや市内の各スタジオによるパフォーマンス、無料オンラインレッスン「初めてのベリーダンスミニレッスン」など、プログラム内容を充実させた。ベリーダンスの初心者から上級者まで、彩りのある艶やかな衣装と妖艶で激しく踊るダンサーの演目は、多くの来場者にその魅力を伝えた。

ダンス×生物学「軸の形成」ワークインプログレス



日程	9.25(土)
会場	泰生ポーチFRONT
出演	岩崎佐和、谷口舞(大駱駝艦)、阿目虎南(燦然CAMP)
観覧・入場料	500円
来場・参加者	17人
主催	燦然CAMP

生物学レクチャーと舞踏ワークショップ・デモンストレーション。共に一つの「軸の形成」というテーマで、生命体の定義、肉体を構成する要素や形成の過程を質疑応答を交えた言語で理解し、参加者自身の身体を通して共有を深めた。普段のダンスワークショップでの抽象的な部分が、明確なテーマと生物学からの学説的アプローチを加えたことで、具体性が伴い、生物学としても、言語で説明できない部分を身体を通した実際の運動により補完することができた。

つるぎんドット来〜い!! 第二回鶴見ダンスフェスティバル



日程	9.25(土)
会場	鶴見銀座商店街(ベルロードつるみ) 路上
出演	MC:相澤竜太(ワープス)、DJ:澤村拓磨、審査員:日野堅太郎、松永菜莉
観覧・入場料	無料
来場・参加者	109人
主催	鶴見銀座商店街協同組合

地元商店街を一部歩行者天国にしてのダンスバトルを実施した。コンテストステージでは観客と審査員の心をつかみ、鶴見NO.1ダンサーに輝くのは一体どのチームだ?と称して盛り上がった。バトルステージでは即興ダンスソロバトルで1対1で対戦し、審査員によるジャッジで勝負を決め、票が割れると観客も審査員の一人としてジャッジに加わるという楽しみもあった。コロナ禍ではあったが、若者たちにストリートダンスの発表の機会と、研鑽の場を提供できた。

Minami Nakayashiki DANCE WORK SHOP

『触れない、は 触れる、を越えるのか? ノン・コンタクトワークのための研究会 WS』



日程	9.28(火)~29(水)
会場	Dance Base Yokohama
講師	中屋敷南
出演	ダンサー:中村理、重松悠希、斎木穂乃香、山口なぎさ 映像:中瀬俊介
参加費	無料
参加者	11人
主催	みんなのコンテンポラリーダンス(MINNA NO CONTEMPORARY DANCE)

通常のコンタクトワークは、身体と身体の物理的接触を伴う2人以上で行うムーブメントだが、触れ合わずに行う“ノン・コンタクトワーク”を試みることで生まれる不思議な感覚を体験。参加者と一緒に人の抜け殻に入り込むようなワーク、触れていないけれど皮膚を感じるワーク、内臓に触れ合うイメージを持ちながら動くワーク、内臓が繋がっているイメージを持ちながら動くワーク、座標として自分の位置を考えながら動くワークなどの内容で身体表現を行った。

第5回モレラ東戸塚ダンスコンテスト



日程	10.2(土)
会場	モレラ東戸塚 モレラパーク
出演	審査員:HERO(至芸・湘南)、ABERE(WASEDA BREAKERS)、Yacheemi(餓鬼レンジャー)、miitoo(South Gate)、calin(CHANCY / LIFULL "ALT-RHYTHM")、SUV(NAT)
	MC:HAMMER
観覧・入場料	無料
来場・参加者	164人
主催	(株)エフエム戸塚

今年で5回目となるエフエム戸塚主催、恒例のコンテスト形式イベント。コロナ禍でも日頃ダンスに取り組む子供たちが、屋外の安心できる環境で披露する場を提供した。参加者は経験値・ジャンル等に縛りなくチャレンジし、プロのダンサーに審査してもらうことで、ダンスへの情熱、体力や身体作り、リズム感など、多くの可能性を提供できた。また目的としていた地域の魅力アップに加え、幅広い交流を促し、活気ある街づくりイベントとして開催できた。

仲秋の月下に舞う

～日本舞踊とコンテンポラリーダンスの融合～



日程	10.2(土)
会場	久良岐能舞台
出演	若葉ひろみ、花柳寿寛聖、今井尋也、渡邊勝代、荒井靖水
観覧・入場料	前売一般3,000円／当日一般3,500円、学生1,000円
来場・参加者	63人
主催	薩摩琵琶中谷派裏水会

一流舞踊家及び演奏家により、守っていききたい日本の伝統文化と現代の舞踊を融合させ、次の世代にわかりやすい内容で伝えることを目的に、舞踊の基本的知識を問うクイズや実際に身体を動かす体験を通して、身近に感じられる時間を設けた。後半では一流舞踊家ならではのステージを間近で観ることで、呼吸や動きの奥深さと「舞踊＝楽しい」を体感でき、伝統楽器との融合を感じていただいた。

森に棲む服／forest closet ひびのこづえ展 ひびのこづえ ダンス・パフォーマンス



日程	10.2(土)～3(日)
会場	そごう美術館 展示室内
出演	アオイヤマダ
観覧・入場料	無料(展覧会入館料 一般1,300円、高校・大学生800円、中学生以下無料)
来場・参加者	103人
主催	(一財)そごう美術館

「森に棲む服／forest closet ひびのこづえ展」の関連企画「ひびのこづえ ダンス・パフォーマンス」は、日本を代表するコスチューム・アーティストひびのこづえの衣装をまとった新進気鋭のダンサーが、展示室内で行うパフォーマンス。小野龍一の音楽にあわせ、ダンサーのアオイヤマダが1枚ずつ脱皮を繰り返しながら踊り、変異していくというダンス・パフォーマンスは新たなひびのこづえの世界を創り出した。

ダンス映画特集



日程	10.2(土)～17(日)
会場	シネマ・ジャック&ベティ
出演	[リモートトークショー] 駒井尚文、聞き手:梶原俊幸
観覧・入場料	一般1,800円、学生1,500円、シニア1,100円、高校生以下1,000円
来場・参加者	269人
主催	シネマ・ジャック&ベティ

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021開催に合わせて、選りすぐりのダンス映画を上映。コンテンポラリー・ストリート・バレエ・ダンスホールなどを扱った『リトル・バック・ストリートから世界へ』と『ダーティ・ダンシング』の2作品を上映した。また、ダンス映画に精通した駒井尚文さん(映画.com編集長)によるリモートトークショーを開催し、来場者と共に、映画とダンスの楽しみ方を共有した。

横浜ジャズプロムナード 2021 鶴見区民文化センターサルビアホール企画

Shall We Dance Whenever You Can - 踊らん哉



日程	10.3(日)
会場	サルビアホール(鶴見区民文化センター) ホール
出演	稲垣貴庸&TNスウィング・オーケストラ、ヴォーカル:キャロル山崎・桃井まり
観覧・入場料	前売4,500円/当日4,000円
来場・参加者	70人
主催	(一社)横浜JAZZ協会

街をステージにトップミュージシャンが集結する横浜JAZZ PROMENADE。若い人たちの間でも復活しつつあるゴージャスなビッグバンド・サウンドとして、国内超一流のミュージシャン、稲垣貴庸&TNスウィング・オーケストラ、キャロル山崎、桃井まりらが出演。ダンススペース、往時のボールルームの雰囲気が味わえる会場で、社交ダンス・ファン、スウィング・JAZZファンに音楽とダンスが融合した一夜を提供した。

障害者も健常者も分け隔てなく楽しもうリビングダンスフェスティバル



日程	10.9(土)
会場	横浜にぎわい座 のげシャレー
出演	ワークショップファシリテーター:戸松美貴博 ダンスチーム:根本ノブヒロ、高橋友輔、はっぱオールスターズ、さざなみ会エンターティメントショーSES 肉態能:戸松美貴博、今井尋也
観覧・入場料	500円
来場・参加者	89人
主催	リビングアートネットワーク

障害を抱えたダンサーたちのダンス公演やプロのダンサーによるダンスワークショップ、全員で障害の分け隔てなく踊るダンスパーティーを行った。障害者が紡ぎだすダンスの素晴らしさを多くの市民の方に伝え、健常者と障害者が分け隔てなくダンスを楽しめる機会を創出することができた。横浜市全域から年齢や国籍、障害の有無を問わず参加団体を募り、日頃の練習の成果を発表する場となった。

肉態能

～踊って心を解き放て～



日程	10.10(日)
会場	長者スタジオ
出演	戸松美貴博、中西文彦、今井尋也
観覧・入場料	1,500円
来場・参加者	10人
主催	ココロおどるプロジェクト

プロのダンサー(戸松美貴博)とプロのミュージシャン(中西文彦、今井尋也)によるダンスパフォーマンス公演とダンスワークショップを実施。また参加者との即興による演奏を通じて、即興でダンスパフォーマンスも行った。またダンサーやミュージシャンによるパフォーマンスを動画配信し、プロのダンサーのファシリテーションにより心の傷を持った人たちにもダンスを楽しめる機会を創出することができた。

妖精大図鑑「YOKOHAMA Ammonite Night」



日程	10.15(金)～17(日)
会場	神奈川県立青少年センター スタジオHIKARI
出演	安部萌、小林菜々、中村亮太、畑中実、平山 犬、飯塚うなぎ、永野百合子
観覧・入場料	前売3,000円/当日3,500円、高校生以下1,000円
来場・参加者	255人
主催	妖精大図鑑/神奈川県

多摩美術大学出身のユニット、妖精大図鑑の最新単独公演で、過去に上演した本演目をブラッシュアップして開催した。「地層に眠るアンモナイト」をモチーフに、古代生物と横浜を巡る物語をダンスやコント、映像や駄洒落などの表現を用いながら描いた。また、公演終了後にはゲストを迎え、アフタートークを行った。

能楽堂へ行こう！横浜邦楽散歩 舞踊編



日程	10.16(土)
会場	久良岐能舞台
出演	地唄舞：依野依、日本舞踊：清水久未、箏：大江美恵・寺井奈美、小鼓：今井尋也、琵琶：荒井靖水
観覧・入場料	前売2,000円／当日3,000円、学生1,000円
来場・参加者	81人
主催	ライフアートユニオン

普段なかなか触れることのできない地唄舞と日本舞踊の魅力を堪能することができるワークショップを実施。経験豊富な一流の舞踊家による懇切丁寧なワークショップを子供から外国人まで体験することができた。また、歴史的に交わることのなかった3つの邦楽のジャンル(箏・小鼓・琵琶)と地唄舞と日本舞踊が能舞台に集まり、誰も見たことのないコラボレーションによる音楽舞踊公演を行った。

第六回横浜よさこい祭り～良い世さ来い



日程	10.17(日)
会場	赤レンガパーク、象の鼻パーク
出演	よさこいチーム
観覧・入場料	無料
来場・参加者	1,500人
主催	横浜よさこい祭り実行委員会

各地域のコミュニティ活動の発表の場として、各地の個性あるよさこいで元気を発信し、長く横浜に根付く祭りを目指して開催。遠方の団体は動画参加として会場内大型スクリーンで放映し、YouTubeでライブ配信も実施した。これによってコロナ禍でも多くの方々と繋がり、交流を広げられた。会場では感染症対策の啓発を踊りで表現する『テアライウガイ』をはじめ、多くの演目を披露した。

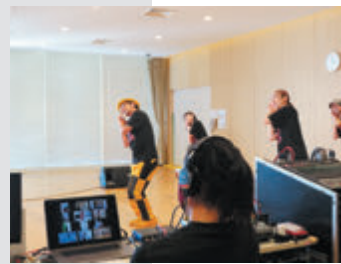
区連携事業

各区役所等が、区民に身近な場所でダンス
関連プログラムを企画・実施した。

【実施数】

27件（うち14件中止等）

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 とつかダンスコンテスト ～とつかソング「Tsu-ka-to」で踊ろう！～



ストリートダンス世界大会優勝経験を持ち、有名CM等の振付を手掛ける電撃チョモランマ隊のQ-TAROさんをアンバサダーに迎え、音楽の街とつかのテーマソングの一つ、『Tsu-ka-to』の振付を制作。

完成した「Tsu-ka-toダンス」は、特別賞受賞者とダンス講師が踊り、その動画を横浜市公式YouTube等で公開。また、Zoomを使ったオンライン講習会の開催や踊ってみた動画の公開等を通じて、皆様に楽しんでいただいた。

日程	6.15(火)～11.30(火)
会場	さくらプラザ(戸塚区民文化センター)
出演	電撃チョモランマ隊Q-TARO UNISTA HAMMER、Miki、Hama、culumi
観覧料	無料
参加者	329人
主催	戸塚区地域振興課

みんなで踊る、ミドリ区民 熱き Bollywood Dance ♪



横浜市の中でも特にインドにルーツを持つ方たちが多く生活する緑区の特徴を生かして、年齢や性別、国籍や障害などの違いを越え、多くの区民グループの皆様に参加していただいた「ボリウッドダンス」の映像を繋いだ動画を制作。

日程	9.1(水)～11.15(月)
会場	緑区内各所
出演	霧が丘インターナショナルコミュニティ、区内市民グループ等
観覧料	無料
参加者	130人
主催	緑区地域振興課

ダンス & ミュージカル in SEYA 「ヘンゼルとグレーテル」



感染拡大防止のため、観客を収容してのマスクプレイミュージカル上演及びダンスレッスンを中止し、当初観覧申込みをしていた区民を対象に、瀬谷公会堂から動画配信を行った。

日程	9.21(火)～10.8(金)
会場	瀬谷公会堂(オンライン動画配信)
出演	株式会社劇団飛行船 スタッフ
観覧料	無料
参加者	8人(視聴数255)
主催	瀬谷区地域振興課

第37回横浜かもんやま能



第37回を迎える、伝統ある事業、横浜かもんやま能。今年は、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 と連携し、開催した。あわせて各地区センター、西区役所及び横浜能楽堂で過去36回分のパネルを展示した。

日程	10.16(土)
会場	横浜能楽堂
出演	解説：金子敬一郎、狂言：茂山七五三(大蔵流)、能：栗谷明生(喜多流)
観覧・入場料	S席4,500円、A席4,000円、B席3,500円
来場・参加者	266人
主催	ふるさと西区推進委員会／西区役所／横浜能楽堂

おうちで都筑区民まつり



感染症の影響を踏まえ、第27回都筑区民まつりは中止となったが、少しでも区民まつりを味わっていただけるように、代替企画として「おうちで区民まつり」を開催。「おうちで踊ろう」都筑音頭・ニュータウン音頭」等を実施し、都筑舞の会による踊りのお手本動画を作成。この動画を参考にして、皆様に自宅等で都筑音頭・ニュータウン音頭を踊った動画をSNSに投稿・シェアいただいた。併せて「都筑区民まつり特製ポストカードでメッセージを送ろう！」も実施した。

日程	10.20(水)～2022.2.28(月)
会場	オンライン動画配信
出演	都筑舞の会(都筑音頭及びニュータウン音頭のお手本動画出演)
観覧料	無料
参加者	6人
主催	都筑区ふるさとづくり委員会

「絵本で Dance Dance Dance !」



“絵本を通して踊りの世界を満喫”というテーマで、子供から大人まで各年齢層に応じた3つのイベントを開催。1回目は、0～2歳程度の乳幼児を対象にした絵本の読み聞かせと子供と一緒に踊れるようなパペットダンス。2回目は、大人も楽しめるダンスをテーマにした様々な国の絵本や紙芝居。3回目は、幼児のいるファミリーと一緒に体を動かしながら楽しめる、絵本の読み聞かせやパペットダンスシアターのイベントを開催した。

日程	10.21(木)～11.23(火)
会場	緑区地域子育て支援拠点 いっぱい 2階研修室 みどりアートパーク(緑区民文化センター) リハーサル室
出演	おはなしサンタ
観覧・入場料	無料
来場・参加者	131人
主催	緑区地域振興課

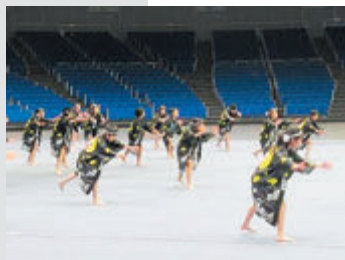
港南区区民文化祭



感染症対策を徹底した上で、こうなん文化交流協会の会員及び区民が日頃の文化活動の成果を発表した。今年は3部会で特別プログラムを実施。吟剣詩舞部では、プロによる吟詠が披露された。民謡舞踊部会では、キングレコード所属歌手の藤山進氏を迎え、部会長とのコラボレーション等を行った。ダンス部会では、プロの安田充希・日高空組を迎え、ラテン演技を披露いただいた。

日程	11.3(水)
会場	港南公会堂
出演	協会員、応募による一般参加者、ゲストとしてプロの出演者数人
観覧・入場料	無料
来場・参加者	470人
主催	こうなん文化交流協会

2021 ふるさと港北ふれあいまつり on-line



コロナ禍の状況を鑑み、オンラインにより開催した。港北区内の団体に動画の作成を依頼、YouTubeにアップしてもらったものに、まつりのHPからリンクを貼ることで動画を視聴いただいた。また、当初まつりの開催を予定していた11月13日には横浜アリーナを会場としてオンライン生配信を行った。Tricolore MermaidsやGRITS TOPAZといったプロの団体から地域のチア団体、区内小学校児童によるソーラン節の披露など、ダンスを存分に盛り込むことでまつりを盛り上げた。

日程	11.6(土)～21(日)
会場	オンライン動画配信(11.13(土)のみ横浜アリーナから生配信)
出演	横浜F・マリノスオフィシャルチアリーダーズ Tricolore Mermaids 横浜GRITSオフィシャルチアリーダーズ GRITS TOPAZ ほか
観覧料	無料
参加者	130人(視聴数29,285)
主催	ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会

つづきウォーク&フェスタ



普段イベントに出演している区内学校の発表映像を都筑区役所1階の区民ホールで放映。また、区内中学生が描いたイラストの展示や、クラフトキット等の配架、関係団体のパネル展及び緑道散策マップの掲示を実施した。ウォーク&フェスタ PR 動画には、都筑区に拠点を置くプロバスケットボールチーム横浜ビー・コルセアーズのチアリーダーズであるB-ROSEも出演。

日程	11.18(木)～24(水)
会場	都筑区役所 1階区民ホール
出演	都筑区内中高生、都筑区青少年指導員 横浜ビー・コルセアーズ チアリーダーズ B-ROSE
観覧・入場料	無料
来場・参加者	1,000人
主催	つづきウォーク&フェスタ実行委員会

Dance Dance Dance Nishiku 2021



西区内の施設で練習をしている団体・個人が一堂に会し、お互いの演技を鑑賞しあい、切磋琢磨して技を高めあう機会となるよう開催。今回で3回目を迎えた。施設と任意団体が共催して、地域の連携も深めることも趣旨としている。

日程	11.20(日)
会場	西公会堂
出演	西区内の施設で練習をしている団体・個人
観覧・入場料	無料
来場・参加者	533人
主催	西区文化協会／西公会堂／西地区センター／(一社)西区区民利用施設協会

B-SKY FES 2021 10th Anniversary



神奈川県在住・在学・在勤の青少年が、日頃取り組んでいるダンスやバンド演奏などのパフォーマンスを披露。コロナ禍のため今年度は初の試みとしてオンラインでの開催にチャレンジし、6組のグループが参加。制約の多い中でも練習を重ねて頑張っている若者の生き生きとした姿を、皆様にご覧いただいた。

日程	11.27(土)～12.28(火)
会場	オンライン動画配信
出演	三ツ沢ボーイズ、Ko-sei、ちび☆でか★たんず!!、三ツ沢チアリーダーズ ングクラブ LIPS、総合学園ヒューマンアカデミー横浜校、MARS
観覧料	無料
参加者	50人
主催	B-SKY FES実行委員会

かながわ湊フェスタ 2021



神奈川区内で活動する市民活動団体や生涯学習団体などの活動を発表・PR する場として毎年開催。今年は、ダンス・音楽をはじめとするバラエティに富んだステージパフォーマンスや、地域の魅力を発表する展示、アートワークショップなど、いろいろな活動を体感していただいた。

日程	11.28(日)
会場	神奈川スポーツセンター
出演	神奈川区内で活動する市民活動団体や生涯学習団体
観覧・入場料	無料
来場・参加者	500人
主催	かながわ湊フェスタ実行委員会

南区文化祭パネル展



過去の南区文化祭等の写真を使用したパネルの展示や南区文化祭へ出演している団体によるフラダンスや舞踊、和太鼓などのミニステージを実施。

日程	12.4(土)～5(日)
会場	南区役所 多目的ホール
出演	南区文化祭実行委員
観覧・入場料	無料
来場・参加者	330人
主催	南区民まつり運営委員会

Dance Dance Dance @YOKOHAMA 2021

パートナー事業

パートナー事業

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 のプレ期間・ポスト期間にわたり、横浜アーツフェスティバル実行委員会の広報協力のもと、様々な団体がダンス関連プログラムを企画・実施した。

【申請数】

56 件（うち 13 件中止等）

テーマ展示

これぞ！大佛歌舞伎



作家大佛次郎の、二代目尾上松緑や三代目市川左團次、七代目中村芝翫といった役者たちとの交友を当時の貴重な写真やエピソードで紹介するとともに、八代目坂東三津五郎からの書簡や八代目中村芝翫へのインタビュー動画を紹介することで、現代にも受け継がれる、大佛歌舞伎の世界に迫った。

日程	4.24(土)～9.5(日)
会場	大佛次郎記念館
観覧・入場料	200円(小中学生以下、市内在住65歳以上無料)
来場者	3,895人
主催	大佛次郎記念館

BCD級ダンス競技会



社交ダンスのアマ・プロ競技選手のクラス別大会を開催。B級、C級、D級の各セクションとも、上位に入賞した選手は昇級の資格を得られるため、参加者全員が入賞を目指し、白熱した戦いが繰り広げられた。

日程	5.9(日)
会場	横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール
観覧・入場料	当日A席4,500円、B席4,000円 ほか
来場・参加者	426人
主催	(一社)神奈川県ボールルームダンス連盟

市民ダンス交流会



感染症対策を考慮して、従来のダンスタイム中心の市民ダンス交流会ではなく、練習会として企画。ラテン9組、スタンダード15組のダンス愛好家と競技選手が参加。コロナ禍で思うように練習できない中、参加者にも大変喜ばれた。

日程	5.23(日)
会場	横浜市技能文化会館
参加費	1部又は2部のみ1,000円、両方の部1,500円
参加者	23人
主催	(一社)神奈川県ボールルームダンス連盟／アマチュアダンス指導員統括委員会

Dance @ Rapport ラポールで踊ろう !!



Dance @ Rapport は様々な障害と年齢層の方が集まるイベントで、音楽はもちろん天井に設置されたミラーボールの照明により、ダンスフロアをクラブやディスコのようになりに華やかに演出した。最初は周りを気にして恥ずかしがっていた参加者も、いつのまにかリズムに合わせて体を動かして楽しんだ。

日程	5.29(土)、6.26(土)、7.24(土)
会場	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール ラポールシアター
参加費	無料
参加者	68人
主催	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

第26回KBDF杯



アマチュアの生徒とプロ講師がカップルを組み、優勝を争う競技会を開催。教室対抗戦も実施し、団体優勝を目指して盛り上がった。

日程	6.6(日)
会場	横浜市技能文化会館
観覧・入場料	前売2,000円(半日)、3,000円(終日)
来場・参加者	75人
主催	(一社)神奈川県ボールルームダンス連盟

未練の幽霊と怪物 —「挫波」「敦賀」—



能のフォーマットを応用し、潰えた「夢」を幻視する、レクイエムとしての音楽劇。現代演劇の旗手として国際的に活躍する劇作家・演出家の岡田利規が、現存する世界最古の舞台芸術「能」に触発され、描いた作品。

作・演出：岡田利規
音楽監督・演奏：内橋和久

日程	6.5(土)~26(土)
会場	KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉
出演	森山未来、片桐はいり、栗原類、石橋静河、太田信吾／七尾旅人(謡子)
演奏	内橋和久、筒井響子、吉本裕美子
観覧・入場料	一般6,800円、U24 3,400円、高校生以下1,000円 ほか
来場・参加者	4,310人
主催	KAAT神奈川芸術劇場

横浜市ダンススポーツ大会



A級、C級、D級、シニアIIA、シニアIIIAの公認競技大会を開催。ペイサイドカップ争奪戦のスタンダード種目優勝は、小嶋みなと・盛田めぐみ組、ラテン種目優勝は吉田周平・吉田有紗組。その他にも各級別の競技を開催した。

日程	6.13(日)
会場	神奈川スポーツセンター 第一体育室
参加費	5,000円
参加者	541人
主催	横浜市ダンススポーツ連盟／神奈川県ダンススポーツ連盟

イスラエル・ガルバン『春の祭典』



提供 Dance Base Yokohama ©Naoshi HATORI

ジャンルを軽々と飛び越える革新的なパフォーマンスで観るものを圧倒させてきたイスラエル・ガルバンによるイーゴリ・ストラヴィンスキー作曲『春の祭典』を上演。ピアニスト片山柊と増田達斗が参加し、2台のピアノによる『春の祭典』の魅惑的な響きと楽器のように身体を操るガルバンの踊りが共鳴することで、観客を圧倒した。

共催：KAAT神奈川芸術劇場

日程	6.18(金)~20(日)
会場	KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉
出演	振付・ダンス：イスラエル・ガルバン ピアノ：片山柊、増田達斗
観覧・入場料	SS席8,000円、S席7,000円、A席5,000円、B席3,000円、U25各半額 ほか
来場・参加者	1,701人
主催	Dance Base Yokohama

オープン・サンバ・エンサイオ with プロコ城南



日本移民113周年記念の日である6月18日の翌日にイベントを開催。移民の無縁仏を祀る大島富士見観音堂 伊藤堂守による講話の後、プロコ城南のオープン練習会を実施。来場者もサンバダンスや演奏に参加し、大人から子供まで幅広い方々に楽しんでいただいた。

日程	6.19(土)
会場	象の鼻パーク
出演	プロコ城南(サンパチーム)、大島富士見観音堂 伊藤堂守
観覧・入場料	無料
来場・参加者	45人
主催	NPO法人ブラジルsolidário横浜

SU-ZU style @ 三井アウトレット BAYSIDE STAGE



三井アウトレットパーク 横浜ペイサイド内オープンスペースのステージに、SU-ZU style 所属キッズダンサー 10チームが参加。VOGUE ダンスから始まり、HIP HOP、WAACK、POP、JAZZ FUNK、LOCK と各ジャンルのダンスチームが会場を盛り上げた。

日程	6.20(日)
会場	三井アウトレットパーク 横浜ペイサイド Aブロック 1階セントラルコートステージ
出演	SU-ZU style 所属キッズダンサー
観覧・入場料	無料
来場・参加者	324人
主催	三井アウトレットパーク 横浜ペイサイド

great journey 5th



Photo: Sugawara Kota

近藤良平 (コンドルズ) と永積崇 (ハナレグミ) が、音楽にダンス、トークや即興など様々な表現でセッションを繰り広げた。今回は2人が過去4回シリーズを振り返るオンライントークをYouTubeで無料配信した。

日程	6.24(木)~27(日)
会場	横浜赤レンガ倉庫 1号館 3Fホール
出演	近藤良平(コンドルズ)、永積 崇(ハナレグミ)
観覧・入場料	前売一般4,800円、U25 4,000円、高校生以下2,000円／当日5,300円
来場・参加者	528人
主催	横浜赤レンガ倉庫 1号館

イスラエル・ガルバン『SOLO』



提供 Dance Base Yokohama ©Naoshi HATORI

ダンスとギターと歌の三位一体で構成される伝統的なフラメンコの全ての要素をイスラエル・ガルバン1人が担うソロ作品で、世界各国の著名劇場のほか、美術館など様々な会場で上演されてきた代表作。今回の公演では、ガラス張りで屋外に面した横浜役所 アトリウムで、日の落ちるタイミングに上演し、街が夜に移りゆく景色とのコラボレーションも実現した。

日程 6.28(月)～29(火)
会場 横浜役所 アトリウム
出演 イスラエル・ガルバン
観覧・入場料 自由席5,000円 ほか
来場・参加者 275人
主催 Dance Base Yokohama

TRIAD DANCE PROJECT

ダンスの系譜学 安藤洋子×酒井はな×中村恩恵

～ダンスアカデミックの継承、そして未来への提言
ーフォーキン、キリアン、フォーサイス そして岡田利規～



提供 Dance Base Yokohama ©Yulia Skogoreva

2021年10月のTRIAD DANCE PROJECT「ダンスの系譜学」愛知公演を前に、中村恩恵、酒井はな、安藤洋子の3人のアーティストによる横浜トライアウトを開催。それぞれがこれまで協働してきた原点となる振付家作品とその再構築となる新作との2作品を発表した。

日程 7.3(土)、7.4(日)、8.21(土)、9.25(土)、9.26(日)
会場 Dance Base Yokohama
出演 中村恩恵、酒井はな、四家卯大、安藤洋子、木ノ内乃々、島地保武、山口泰侑 ほか
観覧・入場料 3公演セット10,000円、1公演4,000円 ほか
来場・参加者 216人
主催 Dance Base Yokohama

KAAT キップ・プログラム 2021

ククノチテクテクマナツノボウケン



「夏休み」をテーマにした、振付家・北村明子演出による新作ダンス公演。北村明子が構築する身体表現と世界観に、自然と生き物をモチーフに身体や生命について訴えかける作品を数多く手がけてきた若手の現代美術家・大小島真木の作品が、子供たちの様々なイメージを沸き起こし、未知なる世界に導いた。

後援：神奈川県教育委員会
横浜市教育委員会

日程 7.12(月)～19(月)
会場 KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉
出演 柴一平、清家悠圭、岡村樹、黒須育海、井田亜彩実、永井直也
観覧・入場料 大人3,500円、子供(4歳～高校生)1,000円
来場・参加者 1,076人
主催 KAAT神奈川芸術劇場

中区ダンスフェスティバル 2021



平成19年の横浜開港150周年を盛り上げる事業として発足し、以来毎年開催。今年で15回を迎えたイベントには、国際色豊かなオールジャンルの31のダンスチームが参加。過去最多となった出演者が大舞台の照明と音響を受けて、日頃の成果として最高の演技を披露した。

日程 7.22(木)
会場 関内ホール 大ホール
出演 横浜市を中心に活動をしているダンスチーム
観覧・入場料 600円
来場・参加者 811人
主催 中区ダンスフェスティバル実行委員会

かなっくホール de 夏おどり

～おやじが踊ってええじゃないか～



中高年男性を中心にしたダンスパフォーマンスチーム「出舞一丁」出演のFacebookライブ配信企画。ダンスを中心に、メンバーの自己紹介や質問コーナー、特技の披露などを行った。視聴者の方々のコメントを司会者が随時紹介するなど、双方向で楽しめる企画を実施した。

日程 8.9(月)
会場 かなっくホール(神奈川区民文化センター) ホール、ホワイエ
出演 ダンスパフォーマンス集団 出舞一丁
観覧料 無料
参加者 10人
主催 かなっくホール(神奈川区民文化センター)

展示「Dance Dance Dance」



バレエ・モダンダンス・日本舞踊など様々なジャンルのダンスについて、歴史や概要、技術を解説した本や、鑑賞するための本、ダンサーの伝記・エッセイ・写真集など、入門書・実用書から評論・研究書まで、ダンスに関する本を幅広く集めて展示した。

日程 8.11(水)～9.20(月・祝)
会場 中央図書館 5階エレベーター前
観覧・入場料 無料
主催 中央図書館調査資料課

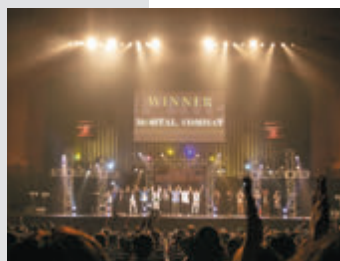
ALOHA HULA 2021



ハワイ王国 第7代国王 カラーカウアの横浜寄港 140 周年を記念し、「ALOHA HULA」を歴史と未来が交差する“よこはまみなとみらい”で開催。日本丸をバックに、生演奏によるフラダンスステージやミュージックライブ、ハワイアンショップの出店などハワイを感じる2日間となった。

日程	8.20(土)~21(日)
会場	日本丸メモリアルパーク
出演	各フラダンスグループ、 ゲストミュージシャン(神保 滋、Keiko、松本ノボル)
観覧・入場料	無料
来場・参加者	3,000人
主催	カフラホア事務局

JAPAN DANCE DELIGHT VOL.27 FINAL



世界最高峰ストリートダンスコンテスト「JAPAN DANCE DELIGHT」。1994 年に開始し、今回で 27 回目を迎える世界規模のダンスコンテストとして最も歴史ある大会。本年は国内代表チームのみ、全 40 チームが出場。今大会を制したのは、5 度目の優勝となる「MORTAL COMBAT」。

日程	8.21(土)
会場	パシフィコ横浜 国立大ホール
観覧・入場料	6,000円
来場・参加者	2,100人
主催	(株)アドヒップ

ダンス指導研修会



ダンス指導研修会を実施。現代的なリズムのダンス、フォークダンス、創作ダンスといった、学校教育に取り入れられているダンスをはじめ、すぐに現場で使えるアイスブレイクやリズム遊び、振付指導の方法、リスクマネジメント、安全に指導するための注意点など、幅広く学べる場となった。

日程	8.28(土)~29(日)
会場	関内ホール リハーサル室4、横浜デジタルアーツ専門学校 2号館体育館
講師	高野純(スヌーピー)、紺野晃弘(Aking)
参加費	前売一般27,830円、学生26,180円、横浜市在住・在勤・在学者限定 24,830円 ほか
参加者	28人
主催	(一社)ダンス教育振興連盟JDAC

Ori Tahiti Party 8



Ori O'a TAHITI メンバーによるタヒチアンダンスのショー、Mahine によるワークショップとショーを実施。タヒチの伝統文化を皆様にお楽しみいただいた。

日程	8.29(日)
会場	関内ホール 小ホール
出演	Mahine、Ori O'a TAHITIメンバー
観覧・入場料	無料
来場・参加者	110人
主催	Ori O'a TAHITI

Dance ! Dance ! Ori Japan



ポリネシアな1日を！をテーマにハワイアン・タヒチアンダンスチームによる、観て、聴いて、踊って、楽しい祭典となった。

日程	8.29(日)
会場	関内ホール 小ホール
出演	タヒチアンダンス・フラダンス・ポリネシアダンスチーム
観覧・入場料	無料
来場・参加者	600人
主催	(一社)タヒチアンダンス協会Ori Japan

ロシア・バレエ・ガラ 2021



クラシック・バレエの聖地ロシアを代表する劇場のミハイロフスキー、ポリショイ、マリンスキー、モスクワ音楽劇場、ペルミから実力派ソリストが来日。カンパニーの枠を越えた夢の競演が実現、ロシア・バレエの伝統美を存分に堪能できる舞台となった。

日程	8.30(月)
会場	神奈川県民ホール 大ホール
出演	オクサーナ・ボンダレワ、イリーナ・コシェレワ、直塚美穂、 アンドレイ・エルマコフ ほか
観覧・入場料	7,500円
来場・参加者	802人
主催	光藍社／神奈川芸術協会

近松心中物語



個性豊かな俳優 19 人で紡ぐ、新しい『近松心中物語』。これまで 50 人規模の出演者で描かれてきた戯曲を、19 人の出演者とともに、新芸術監督・長塚圭史が描いた。多くの兼役を演じ分ける実力派俳優陣と、個々の魅力を生かして紡がれる情景も大きな見どころとなった。

日程	9.4(土)～20(月・祝)
会場	KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉
出演	田中哲司、松田龍平、笹本玲奈、石橋静河 ほか
観覧・入場料	S席9,500円、A席6,000円、U24 4,750円、高校生以下1,000円 ほか
来場・参加者	8,187人
主催	KAAT神奈川芸術劇場

秋季ダンス祭



神奈川県ボールルームダンス連盟が主催するダンス愛好家が集うダンスパーティー。アマチュアによるデモンストレーションのほか、技術発表の場として開催した。

日程	9.12(日)
会場	ローズホテル横浜 ザ・グランドローズボールルーム
観覧・入場料	当日30,000円 ほか
来場・参加者	40人
主催	(一社)神奈川県ボールルームダンス連盟

観月会



美しい月を眺めながら音楽をお楽しみいただける観月会を開催。ライトアップされた歴史的建造物の建ち並ぶ夜の庭園の散策と、重要文化財旧燈明寺本堂を舞台に日替わりで開催した演奏会は、日本の伝統音楽に加え、リュートと日本舞踊を融合させた演目や、サクソとピアノによる日本の唄の演奏など、秋の夜にふさわしい情緒豊かなひとときをお楽しみいただいた。

日程	9.18(土)～23(木・祝)
会場	三溪園 旧燈明寺本堂
出演	リュート：金子浩、踊り手：藤間翔央、日本舞踊振付：藤間恵都子 ほか
観覧・入場料	P・A・C席1,500円、B席：1,000円(別途三溪園入場料)
来場・参加者	5,124人
主催	(公財)三溪園保勝会

素敵な出会いフェスティバル

～知的ハンディのある人たちのパフォーミングアーツ～



第1部（音楽）は、ダウン症や自閉症のあるパフォーマーたちによる演奏。第2部（演劇）は、知的ハンディのある若者たちによる、映像メッセージとダンスを取り入れた演劇を上演。困難な中でも、生き生きとした、身体の源からあふれるパフォーマンスをお楽しみいただいた。

日程	9.19(日)
会場	杉田劇場(磯子区民文化センター) ホール
出演	内海準吾、鈴木凜太郎 ほか
観覧・入場料	一般2,500円、高校生以下1,500円
来場・参加者	156人
主催	NPO法人ドリームエナジープロジェクト

いっしょに踊ってみよう♪子供はだれでも大歓迎！
はじめてでも大丈夫！ HIPHOP ダンスに挑戦！
振り付けにもトライ！



子供たちと「コレオグラフ＝創作」をテーマにイベントを実施。赤ちゃんから高校生まで、各年代のクラスごとに、音に合わせて体を動かしたり、振付創作に取り組んだ。ダンスや音楽は楽しく、また、創作や表現も楽しいものであると子供たちが体感できるイベントとなった。

日程	9.25(土)～29(水)
会場	横浜ベビーヒップホップスタジオ
出演	横浜ベビーヒップホップスタジオインストラクター (Aki, HISAMI, MITO, NATSUMI, Syota, Chinami, TAE, maco)
参加費	1,500円
参加者	100人
主催	横浜ベビーヒップホップスタジオ

BCD 級ダンス競技会



社交ダンスのアマ・プロ競技選手のクラス別大会を開催。B級、C級、D級の各セクションとも、上位に入賞した選手は昇級の資格を得られるため、入賞を目指し、白熱した戦いが繰り広げられた。

日程	9.26(日)
会場	横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール
観覧・入場料	前売A席4,500円、B席4,050円 ほか
来場・参加者	370人
主催	(一社)神奈川県ボールルームダンス連盟

熊谷和徳

表現者たち LIBERATiON



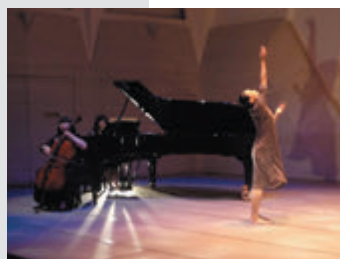
Photo: Makoto Ebi

米ダンスマガジンにおいて「世界で観るべきダンサー 25 人」のうちの 1 人に選ばれたダンスアーティスト・熊谷和徳と OLAibi、平原慎太郎 & 辻本知彦、ハナレグミをゲストに迎え、詩などを盛り込んだパフォーマンスを繰り広げた。

日程	9.30(木)～10.3(日)
会場	横浜赤レンガ倉庫 1 号館 3Fホール
出演	熊谷和徳
観覧・入場料	7,800円
来場・参加者	497人
主催	キョードー東京

初めてのコンテンポラリーダンス

(動画配信)



初心者でも気軽に参加できるように、コンテンポラリーダンスのワークショップをシリーズ3回の動画配信で実施。ナビゲーターとしてリスの「リスちゃん」も登場し、リスレジデンスアーティスト花田えり佳氏演奏のピアノ『オブリビオン』で踊る簡単な作品をレクチャーした。

日程	10.1(金)～11.30(火)
会場	リス(栄区民文化センター) ホール
出演	講師・振付・ダンサー: 佐々木紀子、ダンサー: 中村真知子、 ピアノ: 花田えり佳、チェロ: 白井彩
観覧料	無料
参加者	10人
主催	リス(栄区民文化センター)

CheerParadise BRANCH 横浜南部市場



Cheer Paradise は《チアの元気・夢・たくさんの笑顔をお届けしよう!》をコンセプトとして、2013 年から開催。背景に海が広がる海辺広場に、キッズからシニアまで、たくさんのチアリーダーたちが集まり、チアスピリット溢れるパフォーマンスを披露した。ポンポン等のグッズを作成し、観客席から応援する保護者も多く、チアならではの風景が広がった。

日程	10.2(土)
会場	BRANCH横浜南部市場 海辺広場
出演	チアチーム30組
観覧・入場料	無料
来場・参加者	570人
主催	(一社)チアリーダーズ協会 CheerParadise事務局

第 28 回 カ フ ラ ホ ア



海をバックにしたフラやタヒチアンの華やかなステージ、ハワイに関連するクラフトワークショップの数々、そして様々なお店が並ぶハワイアンショッピングモールでのお買い物を楽しんでいただいた。会場の外では誰でも参加できる“カニカピラ”なども開催し、ハワイやフラと親しめる2日間となった。

日程	10.2(土)～3(日)
会場	横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール
出演	フラ教室70組以上 ミュージシャン: ホオナネア、マカラブア
観覧・入場料	無料
来場・参加者	5,250 人
主催	カ フ ラ ホ ア事務局

ボールルームダンスレッスン



プロのダンサーによる、社交ダンスの基礎から中級のレッスンを実施した。ラテンはルンバ、チャチャチャ、サンバ、ジャイブのベーシックとシャドーの強化を、スタンダードではワルツ、タンゴ、スローフォックストロットのルーティンのレッスンを開催。

日程	10.2(日)～11.28(日)
会場	ヤマモトダンスアカデミー
講師	ラテン: 川端宏範・川端優子、スタンダード: 山本大輔・山本桂子
参加費	ラテン: 1,100～2,200円、スタンダード: 1,000円
参加者	84人
主催	みなとみらいダンスサークル

横浜 JAZZ PROMENADE 2021



横浜 JAZZ PROMENADE 2021 は、「横浜のジャズの灯を絶やさない」という想いのもと、今回は横浜赤レンガ倉庫 1 号館、CROSS STREET から、YouTube での無観客ライブを開催。配信により幅広い層のお客様にお楽しみいただいた。

日程	10.9(土)～10(日)
会場	横浜赤レンガ倉庫 1 号館 3Fホール、CROSS STREET
出演	高瀬龍一セクステット、中村恵介クインテット、RS5pb ほか
観覧料	無料
参加者	178人
主催	横浜JAZZ PROMENADE実行委員会

FUN! FUN! FUN! ～みんなのみなみ de SHOW～



ダンス発表・交流の場となるべく、地域に根ざしたダンスイベントを開催。メンバーの多くが南区在住・在勤の障害のあるメンバーで結成されたダンスチーム「FUNSTAR」のダンス作品（FUNBURGERキッズダンサーとの合同制作）をメインとし、インクルージョンイベントとしてより多くの方に障害者への理解を深めてもらう機会となった。

日程	10.10(日)
会場	吉野町市民プラザ ホール
出演	Energetic girl & Elfin Pop、OHANA、Brush Up ★、White crow、Heirani、Laugh ☆ mate、FUNBURGERキッズダンサー、FUNSTAR
観覧・入場料	無料
来場・参加者	310人
主催	吉野町市民プラザ

第8回 ISOGO ダンスまつり



コンテスト部門、発表会部門、ダンスバトル部門の3部門のダンスイベントを実施。様々なジャンルのダンスパフォーマンスが披露された。

日程	10.16(土)
会場	磯子公会堂
出演	HANA、HERO、ERIKA SATO ほか
観覧・入場料	無料
来場・参加者	900人
主催	磯子区役所

2021-2022「路上の身体祭典 H！」 新人Hソケリッサ！横浜路上ダンスツアー #2

日本丸メモリアルパークパフォーマンス



Photo:岡本千尋

巨大な帆船日本丸とランドマークタワーをバックに、裸足で転がり這い踊る小さな身体。堂々たる横浜の夜景との対比が美しいダンスパフォーマンスとなった。

日程	10.21(木)
会場	日本丸メモリアルパーク
出演	アオキ裕キ、新人Hソケリッサ！（小磯松美、平川収一郎、渡邊芳治、山下幸治、西篤近、浜岡哲平）
観覧・入場料	無料
来場・参加者	121人
主催	アオキカク

奈落



「人間とは業の深い生き物である」人間の内に秘めた強烈なまでの嫉妬や妬み、そして欲望の果てに広がる世界を、1人の男の葛藤や苦しみ揺れ動く心を通して描いた作品。
前回の『ナラク』から1年8か月、新たな視点や発想から構築し、新たなキャスト、新たなストーリー、そして新エンディングへと作品を改変し、『奈落』として上演した。

日程	10.23(土)～24(日)
会場	KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉
出演	中川賢、高原伸子、皆川まゆむ、加賀谷一肇、安岡由美香、末富真由、湯浅愛美、村上ふみ、森川真央、田崎真菜、上田舞香、櫛田祥光
観覧・入場料	4,800円
来場・参加者	377人
主催	Horrorful Dance Company Lasta (Dance Company Lasta)

NDLS 技術検定試験



ダンサーが自己の資質の向上と思考の形成を目指すと同時に、個々のダンス教室の発展を目指し、1級から4級、S級・F級・SF級の各級別の検定試験を行った。

日程	11.7(日)
会場	ダンススタジオ ステップバイステップ
参加費	8,000～30,000円
参加者	22人
主催	(一社)神奈川県ボールルームダンス連盟

“Howdy Buddy” vol.zero in YOKOHAMA



「参加して楽しい、観て楽しい」をコンセプトに初開催。11団体289人のキッズダンサーと、42チームのダンスチームが参加。ゲストステージでは女性シンガーのBeverly、男性シンガーのgbを迎えた。

日程	11.21(日)
会場	都筑公会堂
出演	gb、Beverly ほか
観覧・入場料	前売1,800円(小学生以下無料) ほか
来場・参加者	892人
主催	WAVERS PLEX Dept. (Planning and Execution) (株式会社WAVERS内)

全関東ダンス選手権大会



アマ・プロ競技選手の10セクションの東部連盟公認全関東ダンス選手権を開催。選手たちによる熱戦が繰り広げられた。

日程	11.21(日)
会場	横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール
観覧・入場料	2,000～6,000円
来場・参加者	447人
主催	(一社)神奈川県ボールルームダンス連盟

ラティドス フラメンコス フェスティバル 2021



ミュージシャン6人が奏でるフラメンコの曲で、総勢71人のダンサーが全19曲を踊りきった。

日程	11.23(火・祝)
会場	神奈川県立青少年センター 紅葉坂ホール
出演	笹岡洋子、齊藤奈々、吉水久美子、横山京依、ラティドス フラメンコス 練習生 ほか
観覧・入場料	3,000円
来場・参加者	407人
主催	ラティドス フラメンコス

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021

資料編

開催実績

来場・参加者数 ▶ **75,900** 人（主催・共催事業のみ）
※パートナー事業を含めた全プログラムの総来場・参加者数は12万人

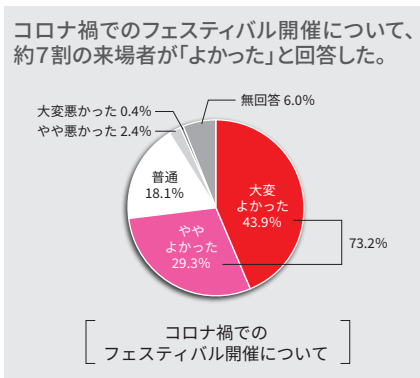
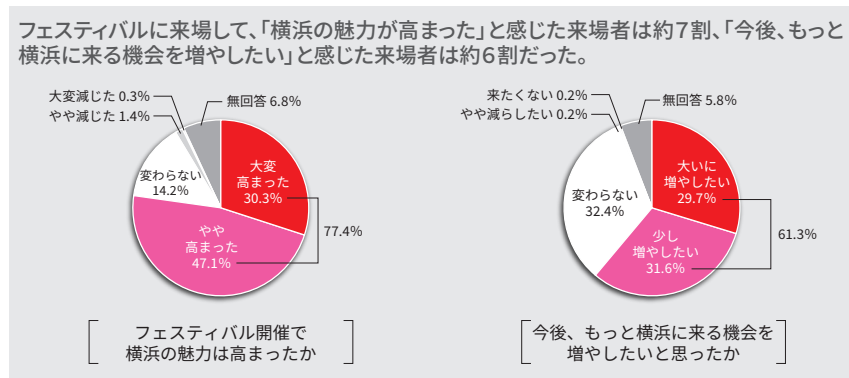
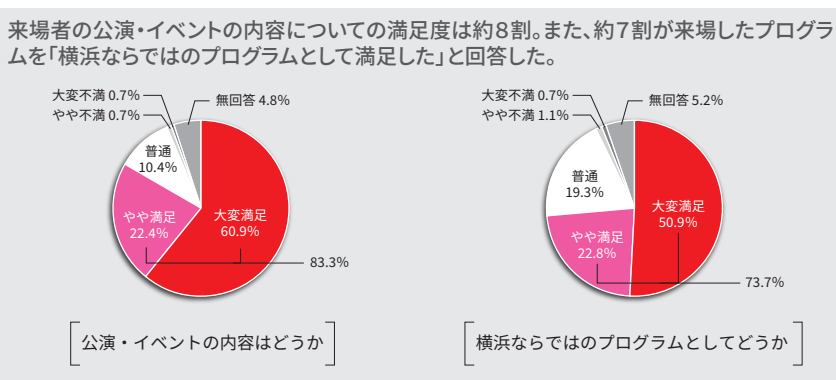
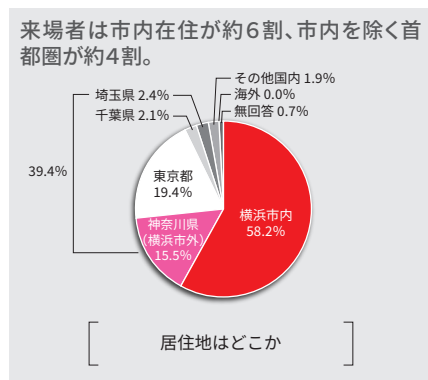
経済波及効果 ▶ **6.9億** 円（主催・共催事業のみ）

市民認知率 ▶ **33.9%**（インターネット調査）

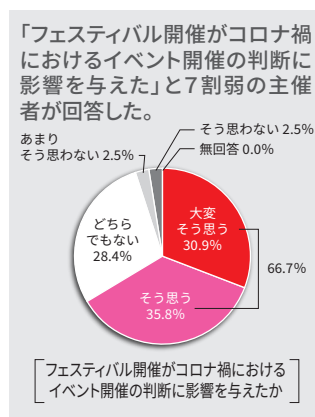
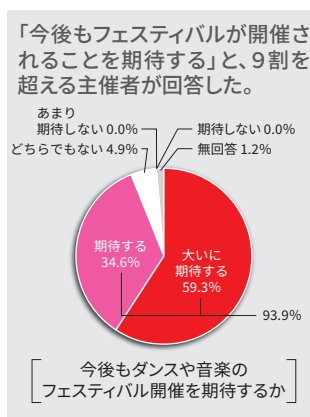
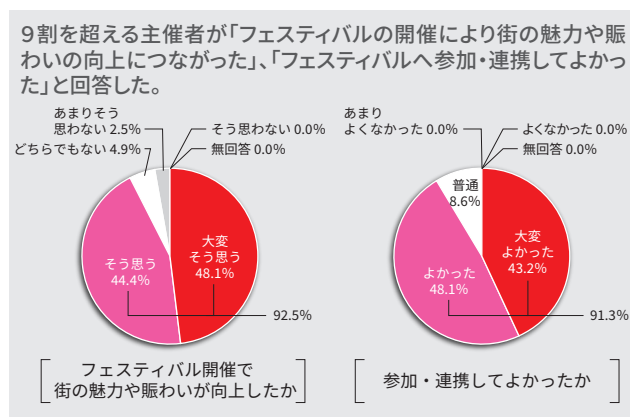
パブリシティ効果 ▶ **20.4億** 円（2022年1月現在）
〈メディア露出件数〉

総計	テレビ・CATV	ラジオ	新聞・雑誌	WEB
1,080件	31件	22件	162件	865件

来場者アンケートの主な結果 ▶ 主催・共催事業の来場者（有効回答数3,285件）



主催者アンケートの主な結果 ▶ 共催事業・パートナー事業の126事業の主催者（※中止等を除き、有効回答数81件）



プロモーション

〈印刷物〉フェスティバルガイドブック、フェスティバルリーフレット、ポスター等

■フェスティバルガイドブック（A4 サイズ、36 ページ）

8 月下旬から 10 月中旬までに 3 万部発行

市内公共施設、協賛企業及び関連施設、駅等で配布



■フェスティバルリーフレット（A4 サイズ）

7 月上旬から 10 月中旬までに 8 万部発行

市内公共施設、協賛企業及び関連施設、駅等で配布



■主なポスター・チラシ

○メインビジュアルポスター（B1 縦、B2 縦、B3 横）

B1、B2



B3



○学校向けリーフレット（A4 サイズ）



○横浜ダンスパラダイス 公式パンフレット

前期（B5 サイズ、32 ページ）



後期（B5 サイズ、36 ページ）



○主催公演チラン

横浜ベイサイドバレエ



TENDRE × yurinasia



東京バレエ団『白鳥の湖』
(ブルメイステル版)



柳家花緑 独演会



International Choreography ×
Japanese Dancers ~舞踊の情熱~



『おさよ (落語版ジゼル)』
柳家花緑 × 東京シティ・バレエ団



エリア 50 代



DRAMATIC WORKS
『SITA YOKOHAMA』



Noism Company Niigata × 小林十市
『A JOURNEY ~記憶の中の記憶へ』



〈PR グッズ〉

- ポリエチレン袋
(バイオマス素材使用)
- うちわ
- 単色ボールペン
- クリアファイル



〈フラッグ・サイネージ等〉

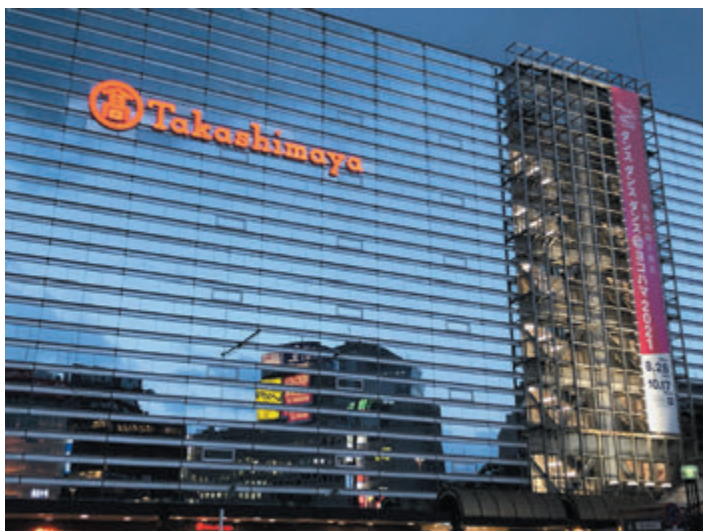
■みなとみらい21 地区

- 動く歩道フラッグ (8.28 ~ 9.5)
- グランモール公園フラッグ (7.21 ~ 10.18)



■市内各地域

- コカ・コーラ自動販売機 POP 広告 (8 ~ 10 月)
- 高島屋横浜店懸垂幕 (7 ~ 10 月)
- のぼり旗：横浜ダンスパラダイス各会場等で掲出 (7 ~ 10 月)



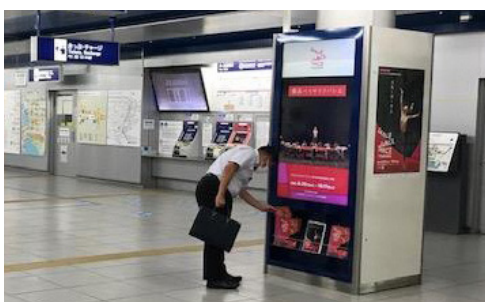
■デジタルサイネージ

横浜三井ビルディング、三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド、三井ショッピングパーク ららぽーと横浜、ランドマークプラザ、MARK IS みなとみらい、そごう横浜店、横浜銀行各支店、野毛ちかみち、横浜市庁舎



〈 交通広告 〉

種 別	時 期	場 所
駅貼りポスター	7月～10.17	京急線、相鉄線、みなとみらい線、横浜市営地下鉄、JR 横浜駅きた・みなみ通路
車内中吊りポスター	8.23～9.12	横浜市営地下鉄
車内サイネージ	8.23～9.12	横浜市営地下鉄
駅構内大型看板	8.23～9.5	東急・みなとみらい線横浜駅
	8.23～9.19	横浜市営地下鉄横浜駅
駅構内サイネージ	8.23～9.5	東急・みなとみらい線横浜駅、みなとみらい線みなとみらい駅、横浜市営地下鉄横浜駅
券売机上サイネージ	10.8～17	みなとみらい線みなとみらい駅



〈公式ウェブサイト・SNS等〉

■公式ウェブサイト（海外向けの情報発信として一部英語ページも作成）

<https://dance-yokohama.jp/>

ユーザー数 123,114、ページビュー数 779,848（4.1～11.30）

■Twitter

@ArtsYokohama フォロワー数 2,289（11.30 時点）

■Facebook

<https://www.facebook.com/DDDatYOKOHAMA> フォロワー数 3,014（11.30 時点）

■Instagram

@dance_yokohama フォロワー数 1,045（11.30 時点）

■プレスリリース配信サービス

PR TIMES 17 件配信

〈横浜市等の広報媒体活用〉

■広報よこはま（市版）

4月号（14面）、5月号（16面）、7月号（16面）、8月号（3面）

■季刊誌「横浜」

2021 年夏号

■テレビ・ラジオ番組

○tvk ハマナビ（9.4 放送）



- FM ヨコハマ YOKOHAMA My Choice！（5.16、8.29 放送）
- ニッポン放送 ようこそ横浜（5.18、8.24 放送）
- ラジオ日本 ホッと横浜（6.3～4、9.16～17）
- インター FM PUBLIC SERVICE ANNOUNCEMENT（8.23～27）
- 文化放送 横浜流儀～ハマ・スタイル～（8.28）

■市交通局広報誌「ぐるっと」

夏号（7.28 発行）

〈観光案内所等でのプロモーション〉

- 観光案内所スタッフのTシャツ着用
- 山下公園レストハウスでのリーフレット等の配架



〈WEB プロモーション〉

ステージナタリー、創造都市横浜、バレエチャンネル、ヨコハマ・アートナビ、
横浜市公式観光サイト「横浜観光情報」、横浜 LOVEWalker、DancersWeb、
Dews、Mikiki、Peatix、Qetic、SPICE

〈オンライン記者説明会〉

日程	6.24(木)
メディア出席者	29 人
登壇	小林十市ディレクター 山本康介ディレクター補佐
ゲスト	柳家花緑
司会	岩崎里衣



Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 メインビジュアルデザイナー



横山 功志 Koji Yokoyama
グラフィック／ウェブデザイナー インフォ・ラウンジ株式会社所属

2014 年インフォ・ラウンジ合同会社(現 インフォ・ラウンジ株式会社)に入社。明星大学日本文化学部造形芸術学科プロダクトデザイン・木材造形専攻卒。学生時代からグラフィックデザイナー・アラタノヒロ氏に師事。雑誌広告、CD ジャケット、玩具、商品パッケージやラベル等のデザインを手掛け、グラフィックデザインを主なフィールドとする。近年は企業やイベント、自治体等のロゴ、ウェブ、ポスター、販促物のデザイン等を主に手掛ける。



INFO LOUNGE

インフォ・ラウンジ株式会社

創業当初より地域情報化を次世代の産業と位置づけ、ICT（情報通信技術）による社会課題の解決に取り組んでいます。地域情報化、福祉情報化、教育情報化を三大柱として、ウェブサイト構築、ウェブシステム開発、アプリ開発、オープンデータ技術支援などを中心に事業展開しています。

協賛

NISSAN



人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ



JVCKENWOOD

STARTS スターツ



UYENO



崎陽軒



J:COM

TOPPAN



協力

麒麟ビール株式会社、京浜急行電鉄株式会社、相鉄グループ、
東急電鉄株式会社、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、
横浜高速鉄道株式会社、横浜信用金庫

助成

令和3年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業
一般財団法人地域創造



横浜アーツフェスティバル実行委員会

■委員長

近藤 誠一 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 理事長)

■副委員長

上野 孝 (横浜商工会議所 会頭)

■委員 (所属団体 50 音順)

崔 成基 (一般社団法人横浜青年会議所 理事長)
宮林 聡 (株式会社アール・エフ・ラジオ日本 代表取締役社長)
熊谷 典和 (株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長)
玉村 和己 (公益財団法人神奈川芸術文化財団 理事長)
布留川 信行 (公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー 理事長)
福山 浩一郎 (NHK横浜放送局 局長)
兒玉 智彦 (横浜エフエム放送株式会社 代表取締役社長)
京 克樹 (横浜市ケーブルテレビ協議会 会長)
林 琢己 (横浜市 副市長)

■監事

須藤 浩之 (株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長)

■名誉委員長

山中 竹春 (横浜市長)

■名誉顧問

黒岩 祐治 (神奈川県知事)

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 事業報告書

2022 年 3 月発行

発行・編集・著作権者 横浜アーツフェスティバル実行委員会

※当報告書に掲載されている全ての内容(文書・画像等)の無断転載・複製・転用を禁じます。

※当報告書は、敬称略で表記しています。

DANCE
DANCE
DANCE
of YOKOHAMA

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021